

工事番号：5生工第2号

工事件名：文化財展示室改修工事

魚沼市教育委員会事務局生涯学習課文化財係

番号	図面名称(建築)	縮尺	番号	図面名称(電気)	縮尺	番号	図面名称(設備)	縮尺
A-01	表紙・図面リスト	no scale	E-01	特記仕様書 (1)	no scale	M-01	特記仕様書 (1)	no scale
A-02	特記仕様書 (1)	no scale	E-02	特記仕様書 (2)	no scale	M-02	特記仕様書 (2)	no scale
A-03	特記仕様書 (2)	no scale	E-03	電灯設備(撤去)図	1/100 (A1) 1/200 (A3)	M-03	既設空調設備図	1/30・1/100 (A1) 1/60・1/200 (A3)
A-04	特記仕様書 (3)	no scale	E-04	電灯設備図	1/100 (A1) 1/200 (A3)	M-04	改修後空調設備図	1/30・1/100 (A1) 1/60・1/200 (A3)
A-05	特記仕様書 (4)	no scale	E-05	コンセント設備図	1/100 (A1) 1/200 (A3)	M-05	既設自動制御設備図	1/100 (A1) 1/200 (A3)
A-06	特記仕様書 (5)	no scale	E-06	換気扇電源設備図	1/100 (A1) 1/200 (A3)	M-06	改修自動制御設備図	1/100 (A1) 1/200 (A3)
A-07	特記仕様書 (6)	no scale	E-07	弱電設備図	1/100 (A1) 1/200 (A3)	M-07	改修換気設備図	1/100 (A1) 1/200 (A3)
A-08	配置図・案内図	1/300 (A1) 1/600 (A3)	E-08	自動火災報知設備図	1/100 (A1) 1/200 (A3)			
A-09	仕上表	no scale	E-09	防犯設備図	1/100 (A1) 1/200 (A3)			
A-10	計画平面図	1/50 (A1) 1/100 (A3)						
A-11	現況平面図	1/50 (A1) 1/100 (A3)						
A-12	計画平面詳細図	1/25 (A1) 1/50 (A3)						
A-13	現況平面詳細図	1/25 (A1) 1/50 (A3)						
A-14	計画矩計図	1/25 (A1) 1/50 (A3)						
A-15	計画天井伏図	1/100 (A1) 1/200 (A3)						
A-16	計画展開図	1/50 (A1) 1/100 (A3)						
A-17	建具表 1	1/50 (A1) 1/100 (A3)						
A-18	建具表 2	1/50 (A1) 1/100 (A3)						
A-19	部分詳細図 1 (床下展示・ソファ)	1/10・1/15 (A1) 1/20・1/30 (A3)						
A-20	部分詳細図 2 (カウンター)	1/10・1/15 (A1) 1/20・1/30 (A3)						
A-21	部分詳細図 3 (展示棚)	1/15 (A1) 1/30 (A3)						
		1/10 (A1) 1/20 (A3)						

文化財展示室改修工事 設計図 (建築) 魚沼市教育委員会事務局生涯学習課 令和 年 月 (全校)

仕様書

I 共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 最新年度版」(以下「改修仕様」という。)により、改修仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 最新年度版」(以下「標準仕様」という。)による。

2. 改修仕様に用いられている用語を、次のとおり読み替える。  
(1) 「工事請負契約書」を「新潟県財務規則(昭和57年3月1日新潟県規則第10号)附記(第78条関係) 魚沼市建設工事請負基準約款」(以下「約款」という。)に読み替える。  
(2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。  
(3) 「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

3. 次の各号に該当する改修標仕の項目について、改修標仕の規定を別表に置き換えて適用する。  
(1) 1章 1.1.2用語の定義の(7)、(8)及び(9)  
(2) 1.4.2材料の品質等の(1)及び(2)  
(3) 1.4.4材料の検査等の(1)  
(4) 1.7.1工事検査の(2)及び(3)

4. 改修標仕の次の項目の規定は適用しない。  
1章 1.1.2 用語の定義の(2)  
1.7.2 技術検査

別表(建築改修工事)

号	項目	置き換え後の改修標仕の規定
1	1章 一般共通事項	
(1)	1.1.2 用語の定義	(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者という。 (8)「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は押印された文書、及び新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう。 (9)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために、発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。 (ただし、②に係る検査を除く。) ①工事の完成(約款第32条) ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等(約款第38条) ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成(約款第39条) ④契約の解除時における出来形部分(約款第48条) ⑤必要があると認めたときの臨時検査(約款第50条)
(2)	1.4.2材料の品質等	(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(一般社団法人公共建築協会) 契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定める品目のある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。 (2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合(次の(7)から(9)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。)、は、この限りでない。 (7)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (8)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品(特記で改修標仕及び標準仕様の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。) (9)特記により指定された材料又は製造者の製品
(3)	1.4.4 材料の検査等	(1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。 ただし、次の(7)若しくは(8)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7)工事完成検査時又は工事写真で、JIS若しくはJASのマークを確認できる場合 (8)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合
(4)	1.7.1 工事検査	(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。

II 特記仕様

1. 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。  
2. 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。  
3. 特記事項の記載の[ ]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
特記事項に記載の( )内表示番号は、標準仕様の当該項目、当該図または当該表を示す。  
4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また( )内は製品名を示す。

項目	特記事項
1 工事実績情報	※請負工事費500万円以上の場合、登録する [1.1.4]
2 概成工期	※無し ・有(工期 令和 年 月 日) [1.2.1]
3 内部の工事期間等	※着手 令和 年 月 日 ~ 終了 令和 年 月 日までとする。 ※工事請負約款第34条に基づき、部分使用承諾書により、施設内部の使用を開始する。 ※次の作業は内部工事着手前に行える。ただし、着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。 ※外部足場組等の仮設工事 ※工場制作のための現場寸法調査
4 品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件 [1.2.2] ・地区の区分に応じた風速 (V(0) (m/sec)) ・ 3.0 ・ 3.2 ・地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV ・多雪地域の指定 積雪区分 建造物第1455号 別表 ( )
5 監理技術者の要件	※建築工事に係る監理技術者証を有するもので、次のいずれかの要件を満たす 監理技術者を専任で配置できること。 1 建築工事に施工に関し、10年以上の実務経験を有すること。 2 一級建築士又は一級建築施工管理技士の資格取得後4年以上の実務経験を有すること。 [1.3.3]
6 電気保安技術者	※要 [1.3.3]
7 発生材の処理等	1 0追加特記 7「発生材の処理等」による。 [1.3.12]
8 特別な材料の工法	改修標仕及び標準仕様に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。 [1.5.2]
9 施工数量調査の方法	目視及び打診(必要に応じて破壊)による調査を行う。調査範囲及び調査内容は各章による。 [1.6.2]
10 技能士	
11 見本施工	※実施する [1.6.5]
12 化学物質の濃度測定	1 0追加特記 8「化学物質の濃度測定」による。 [1.6.9]
13 完成図等	※下記のものを作成し提出する。なお、作成方法等は、監督員の指示による。 ・案内図及び配置図 ・平面図 ・立面図 ・断面図 [1.8.1~1.8.3] ・仕上表 ・建物の保全に関する説明書(取扱説明書を含む。) ※竣工図 (A1 部 A3 部) ・CADデータ
14 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
15 工事完成写真	※同一箇所の改修前と改修後が比較出来るように整理のうえ監督員に提出する。 ※提出部数 1部
16 工事施工状況写真	※工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(平成28年版)」による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(平成30年版)を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。 ※提出部数 1部
17 設備工事との取合い	1 0追加特記 6「工事区分表」による。

1 騒音・粉じんの対策

2 監督員事務所等

3 工事用水

4 工事用電力

5 仮設建物等

6 足場

7 養生

8 仮設間仕切り

9 施工数量調査

10 防水の保証等

11 アスファルト防水

12 防水の保証等

13 アスファルト防水

14 防水の保証等

15 アスファルト防水

16 防水の保証等

17 アスファルト防水

18 防水の保証等

19 アスファルト防水

20 防水の保証等

21 アスファルト防水

22 防水の保証等

23 アスファルト防水

24 防水の保証等

25 アスファルト防水

26 防水の保証等

27 アスファルト防水

28 防水の保証等

29 アスファルト防水

30 防水の保証等

31 アスファルト防水

32 防水の保証等

33 アスファルト防水

34 防水の保証等

35 アスファルト防水

36 防水の保証等

37 アスファルト防水

38 防水の保証等

39 アスファルト防水

40 防水の保証等

41 アスファルト防水

42 防水の保証等

43 アスファルト防水

44 防水の保証等

45 アスファルト防水

46 防水の保証等

47 アスファルト防水

48 防水の保証等

49 アスファルト防水

50 防水の保証等

51 アスファルト防水

52 防水の保証等

53 アスファルト防水

54 防水の保証等

55 アスファルト防水

56 防水の保証等

57 アスファルト防水

58 防水の保証等

59 アスファルト防水

60 防水の保証等

61 アスファルト防水

62 防水の保証等

63 アスファルト防水

64 防水の保証等

65 アスファルト防水

66 防水の保証等

67 アスファルト防水

68 防水の保証等

69 アスファルト防水

70 防水の保証等

71 アスファルト防水

72 防水の保証等

73 アスファルト防水

74 防水の保証等

75 アスファルト防水

76 防水の保証等

77 アスファルト防水

78 防水の保証等

79 アスファルト防水

80 防水の保証等

81 アスファルト防水

82 防水の保証等

83 アスファルト防水

84 防水の保証等

85 アスファルト防水

86 防水の保証等

87 アスファルト防水

88 防水の保証等

89 アスファルト防水

90 防水の保証等

91 アスファルト防水

92 防水の保証等

93 アスファルト防水

94 防水の保証等

95 アスファルト防水

96 防水の保証等

97 アスファルト防水

98 防水の保証等

99 アスファルト防水

100 防水の保証等

101 アスファルト防水

102 防水の保証等

103 アスファルト防水

104 防水の保証等

105 アスファルト防水

106 防水の保証等

107 アスファルト防水

108 防水の保証等

109 アスファルト防水

110 防水の保証等

111 アスファルト防水

112 防水の保証等

113 アスファルト防水

114 防水の保証等

115 アスファルト防水

116 防水の保証等

117 アスファルト防水

118 防水の保証等

119 アスファルト防水

120 防水の保証等

121 アスファルト防水

122 防水の保証等

123 アスファルト防水

124 防水の保証等

125 アスファルト防水

126 防水の保証等

127 アスファルト防水

128 防水の保証等

129 アスファルト防水

130 防水の保証等

131 アスファルト防水

132 防水の保証等

133 アスファルト防水

134 防水の保証等

135 アスファルト防水

136 防水の保証等

137 アスファルト防水

138 防水の保証等

139 アスファルト防水

140 防水の保証等

141 アスファルト防水

142 防水の保証等

143 アスファルト防水

144 防水の保証等

145 アスファルト防水

146 防水の保証等

147 アスファルト防水

148 防水の保証等

149 アスファルト防水

150 防水の保証等

151 アスファルト防水

152 防水の保証等

153 アスファルト防水

154 防水の保証等

155 アスファルト防水

156 防水の保証等

157 アスファルト防水

158 防水の保証等

159 アスファルト防水

160 防水の保証等

161 アスファルト防水

162 防水の保証等

163 アスファルト防水

164 防水の保証等

165 アスファルト防水

166 防水の保証等

167 アスファルト防水

168 防水の保証等

169 アスファルト防水

170 防水の保証等

171 アスファルト防水

172 防水の保証等

173 アスファルト防水

174 防水の保証等

175 アスファルト防水

176 防水の保証等

177 アスファルト防水

178 防水の保証等

179 アスファルト防水

180 防水の保証等

181 アスファルト防水

182 防水の保証等

183 アスファルト防水

184 防水の保証等

185 アスファルト防水

186 防水の保証等

187 アスファルト防水

188 防水の保証等

189 アスファルト防水

190 防水の保証等

191 アスファルト防水

192 防水の保証等

193 アスファルト防水

194 防水の保証等

195 アスファルト防水

196 防水の保証等

197 アスファルト防水

198 防水の保証等

199 アスファルト防水

200 防水の保証等

201 アスファルト防水

202 防水の保証等

203 アスファルト防水

204 防水の保証等

205 アスファルト防水

206 防水の保証等

207 アスファルト防水

208 防水の保証等

209 アスファルト防水

210 防水の保証等

211 アスファルト防水

212 防水の保証等

213 アスファルト防水

214 防水の保証等

215 アスファルト防水

216 防水の保証等

217 アスファルト防水

218 防水の保証等

219 アスファルト防水

220 防水の保証等

221 アスファルト防水

222 防水の保証等

223 アスファルト防水

224 防水の保証等

225 アスファルト防水

226 防水の保証等

227 アスファルト防水

228 防水の保証等

229 アスファルト防水

230 防水の保証等

231 アスファルト防水

232 防水の保証等

233 アスファルト防水

234 防水の保証等

235 アスファルト防水

236 防水の保証等

237 アスファルト防水

238 防水の保証等

239 アスファルト防水

240 防水の保証等

241 アスファルト防水

242 防水の保証等

243 アスファルト防水

244 防水の保証等

245 アスファルト防水

246 防水の保証等

247 アスファルト防水

248 防水の保証等

249 アスファルト防水

250 防水の保証等

251 アスファルト防水

252 防水の保証等

253 アスファルト防水

254 防水の保証等

255 アスファルト防水

256 防水の保証等

257 アスファルト防水

258 防水の保証等

259 アスファルト防水

260 防水の保証等

261 アスファルト防水

262 防水の保証等

263 アスファルト防水

264 防水の保証等

265 アスファルト防水

266 防水の保証等

267 アスファルト防水

268 防水の保証等

269 アスファルト防水

270 防水の保証等

271 アスファルト防水

272 防水の保証等

273 アスファルト防水

274 防水の保証等

275 アスファルト防水

276 防水の保証等

277 アスファルト防水

278 防水の保証等

279 アスファルト防水

280 防水の保証等

281 アスファルト防水

282 防水の保証等

283 アスファルト防水

284 防水の保証等

285 アスファルト防水

286 防水の保証等

287 アスファルト防水

288 防水の保証等

289 アスファルト防水

290 防水の保証等

291 アスファルト防水

292 防水の保証等

293 アスファルト防水

294 防水の保証等

295 アスファルト防水

296 防水の保証等

297 アスファルト防水

298 防水の保証等

299 アスファルト防水

300 防水の保証等

301 アスファルト防水

302 防水の保証等

303 アスファルト防水

304 防水の保証等

305 アスファルト防水

306 防水の保証等

307 アスファルト防水

308 防水の保証等

309 アスファルト防水

310 防水の保証等

311 アスファルト防水

312 防水の保証等

313 アスファルト防水

314 防水の保証等

315 アスファルト防水

316 防水の保証等

317 アスファルト防水

318 防水の保証等

319 アスファルト防水

320 防水の保証等

321 アスファルト防水

322 防水の保証等

323 アスファルト防水

324 防水の保証等

325 アスファルト防水

326 防水の保証等

327 アスファルト防水

328 防水の保証等

329 アスファルト防水

330 防水の保証等

331 アスファルト防水

332 防水の保証等

333 アスファルト防水

334 防水の保証等

335 アスファルト防水

336 防水の保証等

337 アスファルト防水

338 防水の保証等

339 アスファルト防水

340 防水の保証等

341 アスファルト防水

342 防水の保証等

343 アスファルト防水

344 防水の保証等

345 アスファルト防水

346 防水の保証等

347 アスファルト防水

348 防水の保証等

349 アスファルト防水

350 防水の保証等

351 アスファルト防水

352 防水の保証等

353 アスファルト防水

354 防水の保証等

355 アスファルト防水

356 防水の保証等

357 アスファルト防水

358 防水の保証等

359 アスファルト防水

360 防水の保証等

361 アスファルト防水

362 防水の保証等

363 アスファルト防水

364 防水の保証等

365 アスファルト防水

366 防水の保証等

367 アスファルト防水

368 防水の保証等

369 アスファルト防水

370 防水の保証等

371 アスファルト防水

372 防水の保証等

373 アスファルト防水

374 防水の保証等

375 アスファルト防水

376 防水の保証等

377 アスファルト防水

378 防水の保証等

379 アスファルト防水

380 防水の保証等

381 アスファルト防水

382 防水の保証等

383 アスファルト防水

384 防水の保証等

385 アスファルト防水

386 防水の保証等

387 アスファルト防水

388 防水の保証等

389 アスファルト防水

390 防水の保証等

391 アスファルト防水

392 防水の保証等

393 アスファルト防水

394 防水の保証等

395 アスファルト防水

396 防水の保証等

397 アスファルト防水

398 防水の保証等

399 アスファルト防水

400 防水の保証等

401 アスファルト防水

402 防水の保証等

403 アスファルト防水

404 防水の保証等

405 アスファルト防水

406 防水の保証等

407 アスファルト防水

408 防水の保証等

409 アスファルト防水

410 防水の保証等

411 アスファルト防水

412 防水の保証等

413 アスファルト防水

414 防水の保証等

415 アスファルト防水

416 防水の保証等

417 アスファルト防水

418 防水の保証等

419 アスファルト防水

420 防水の保証等

421 アスファルト防水

422 防水の保証等

423 アスファルト防水

424 防水の保証等

425 アスファルト防水

426 防水の保証等

427 アスファルト防水

428 防水の保証等

429 アスファルト防水

430 防水の保証等

431 アスファルト防水

432 防水の保証等

433 アスファルト防水

434 防水の保証等

435 アスファルト防水

436 防水の保証等

437 アスファルト防水

438 防水の保証等

439 アスファルト防水

440 防水の保証等

441 アスファルト防水

442 防水の保証等

443 アスファルト防水

444 防水の保証等

445 アスファルト防水

446 防水の保証等

447 アスファルト防水

448 防水の保証等

449 アスファルト防水

450 防水の保証等

451 アスファルト防水

452 防水の保証等

453 アスファルト防水

454 防水の保証等

455 アスファルト防水

456 防水の保証等

457 アスファルト防水

458 防水の保証等

459 アスファルト防水

460 防水の保証等

461 アスファルト防水

462 防水の保証等

463 アスファルト防水

464 防水の保証等

465 アスファルト防水

466 防水の保証等

467 アスファルト防水

468 防水の保証等

469 アスファルト防水

470 防水の保証等

471 アスファルト防水

472 防水の保証等

473 アスファルト防水

474 防水の保証等

475 アスファルト防水

476 防水の保証等

477 アスファルト防水

478 防水の保証等

479 アスファルト防水

480 防水の保証等

481 アスファルト防水

482 防水の保証等

483 アスファルト防水

484 防水の保証等

485 アスファルト防水

486 防水の保証等

487 アスファルト防水

488 防水の保証等

489 アスファルト防水

490 防水の保証等

491 アスファルト防水

492 防水の保証等

493 アスファルト防水

494 防水の保証等

495 アスファルト防水

496 防水の保証等

497 アスファルト防水

498 防水の保証等

499 アスファルト防水

500 防水の保証等

501 アスファルト防水

502 防水の保証等

503 アスファルト防水

504 防水の保証等

505 アスファルト防水

506 防水の保証等

507 アスファルト防水

508 防水の保証等

509 アスファルト防水

510 防水の保証等

511 アスファルト防水

512 防水の保証等

513 アスファルト防水

514 防水の保証等

515 アスファルト防水

516 防水の保証等

517 アスファルト防水

518 防水の保証等

519 アスファルト防水

520 防水の保証等

521 アスファルト防水

522 防水の保証等

523 アスファルト防水

524 防水の保証等

525 アスファルト防水

526 防水の保証等

527 アスファルト防水

528 防水の保証等

529 アスファルト防水

530 防水の保証等

531 アスファルト防水

532 防水の保証等

533 アスファルト防水

534 防水の保証等

535 アスファルト防水

536 防水の保証等

537 アスファルト防水

538 防水の保証等

539 アスファルト防水

540 防水の保証等

541 アスファルト防水

542 防水の保証等

543 アスファルト防水

544 防水の保証等

545 アスファルト防水

546 防水の保証等

547 アスファルト防水

548 防水の保証等

549 アスファルト防水

550 防水の保証等

551 アスファルト防水

552 防水の保証等

553 アスファルト防水

554 防水の保証等

555 アスファルト防水

556 防水の保証等

557 アスファルト防水

558 防水の保証等

559 アスファルト防水

560 防水の保証等

561 アスファルト防水

562 防水の保証等

563 アスファルト防水

564 防水の保証等

565 アスファルト防水

566 防水の保証等

567 アスファルト防水

568 防水の保証等

569 アスファルト防水

570 防水の保証等

571 アスファルト防水

572 防水の保証等

573 アスファルト防水

574 防水の保証等

575 アスファルト防水

576 防水の保証等

577 アスファルト防水

578 防水の保証等

579 アスファルト防水

580 防水の保証等

581 アスファルト防水

582 防水の保証等

583 アスファルト防水

584 防水の保証等

585 アスファルト防水

586 防水の保証等

587 アスファルト防水

588 防水の保証等

589 アスファルト防水

590 防水の保証等

591 アスファルト防水

592 防水の保証等

593 アスファルト防水

594 防水の保証等

595 アスファルト防水

596 防水の保証等

597 アスファルト防水

598 防水の保証等

599 アスファルト防水

600 防水の保証等

601 アスファルト防水

602 防水の保証等

603 アスファルト防水

604 防水の保証等

605 アスファルト防水

606 防水の保証等

607 アスファルト防水

608 防水の保証等

609 アスファルト防水

610 防水の保証等

611 アスファルト防水

612 防水の保証等

613 アスファルト防水

614 防水の保証等

615 アスファルト防水

616 防水の保証等

617 アスファルト防水

618 防水の保証等

619 アスファルト防水

620 防水の保証等

621 アスファルト防水

622 防水の保証等

623 アスファルト防水

624 防水の保証等

625 アスファルト防水

626 防水の保証等

627 アスファルト防水

628 防水の保証等

629 アスファルト防水

630 防水の保証等

631 アスファルト防水

632 防水の保証等

633 アスファルト防水

634 防水の保証等

635 アスファルト防水

636 防水の保証等

637 アスファルト防水

638 防水の保証等

639 アスファルト防水

640 防水の保証等

641 アスファルト防水

642 防水の保証等

643 アスファルト防水

644 防水の保証等

645 アスファルト防水

646 防水の保証等

647 アスファルト防水

648 防水の保証等

649 アスファルト防水

650 防水の保証等

651 アスファルト防水

652 防水の保証等

653 アスファルト防水

654 防水の保証等

655 アスファルト防水

656 防水の保証等

657 アスファルト防水

658 防水の保証等

659 アスファルト防水

660 防水の保証等

661 アスファルト防水

662 防水の保証等

663 アスファルト防水

664 防水の保証等

665 アスファルト防水

666 防水の保証等

667 アスファルト防水

668 防水の保証等

669 アスファルト防水

670 防水の保証等

671 アスファルト防水

672 防水の保証等

673 アスファルト防水

674 防水の保証等

675 アスファルト防水

676 防水の保証等

677 アスファルト防水

678 防水の保証等

679 アスファルト防水

680 防水の保証等

681 アスファルト防水

682 防水の保証等

683 アスファルト防水

684 防水の保証等

685 アスファルト防水

686 防水の保証等

687 アスファルト防水

688 防水の保証等

689 アスファルト防水

690 防水の保証等

691 アスファルト防水

692 防水の保証等

693 アスファルト防水

694 防水の保証等

695 アスファルト防水

696 防水の保証等

697 アスファルト防水

698 防水の保証等

699 アスファルト防水

700 防水の保証等

701 アスファルト防水

702 防水の保証等

703 アスファルト防水

704 防水の保証等

705 アスファルト防水

706 防水の保証等

707 アスファルト防水

708 防水の保証等

709 アスファルト防水

710 防水の保証等

711 アスファルト防水

712 防水の保証等

713 アスファルト防水

714 防水の保証等

715 アスファルト防水

716 防水の保証等

717 アスファルト防水

718 防水の保証等

719 アスファルト防水

720 防水の保証等

721 アスファルト防水

722 防水の保証等

723 アスファルト防水

724 防水の保証等

725 アスファルト防水

726 防水の保証等

727 アスファルト防水

728 防水の保証等

729 アスファルト防水

730 防水の保証等

731 アスファルト防水

732 防水の保証等

733 アスファルト防水

734 防水の保証等

735 アスファルト防水

736 防水の保証等

737 アスファルト防水

738 防水の保証等

739 アスファルト防水

740 防水の保証等

741 アスファルト防水

742 防水の保証等

743 アスファルト防水

744 防水の保証等

745 アスファルト防水

746 防水の保証等

747 アスファルト防水

748 防水の保証等

749 アスファルト防水

750 防水の保証等

751 アスファルト防水

752 防水の保証等

753 アスファルト防水

754 防水の

8 シーリング
防水改修工事
9 とい
10 7Mニウム製立木
1 施工数量調査
外壁改修工事共通事項
2 外壁改修の保証等
1 ひび割れ部改修工法
2 欠損部改修工法
3 浮き部改修工法
4 目地改修工法
5 目地張り
6 目地改修工法
7 鋼製建具
仕様書(そのII) Ver. 020401
有 限 会 社 サ ク ラ イ 設 計
新田県魚沼市小出島1209番地16 (小出駅前)
〒974-0209 新田県魚沼市小出島1209番地16
TEL 025-252-0000 FAX 025-252-0000
代表取締役 浅井 守人



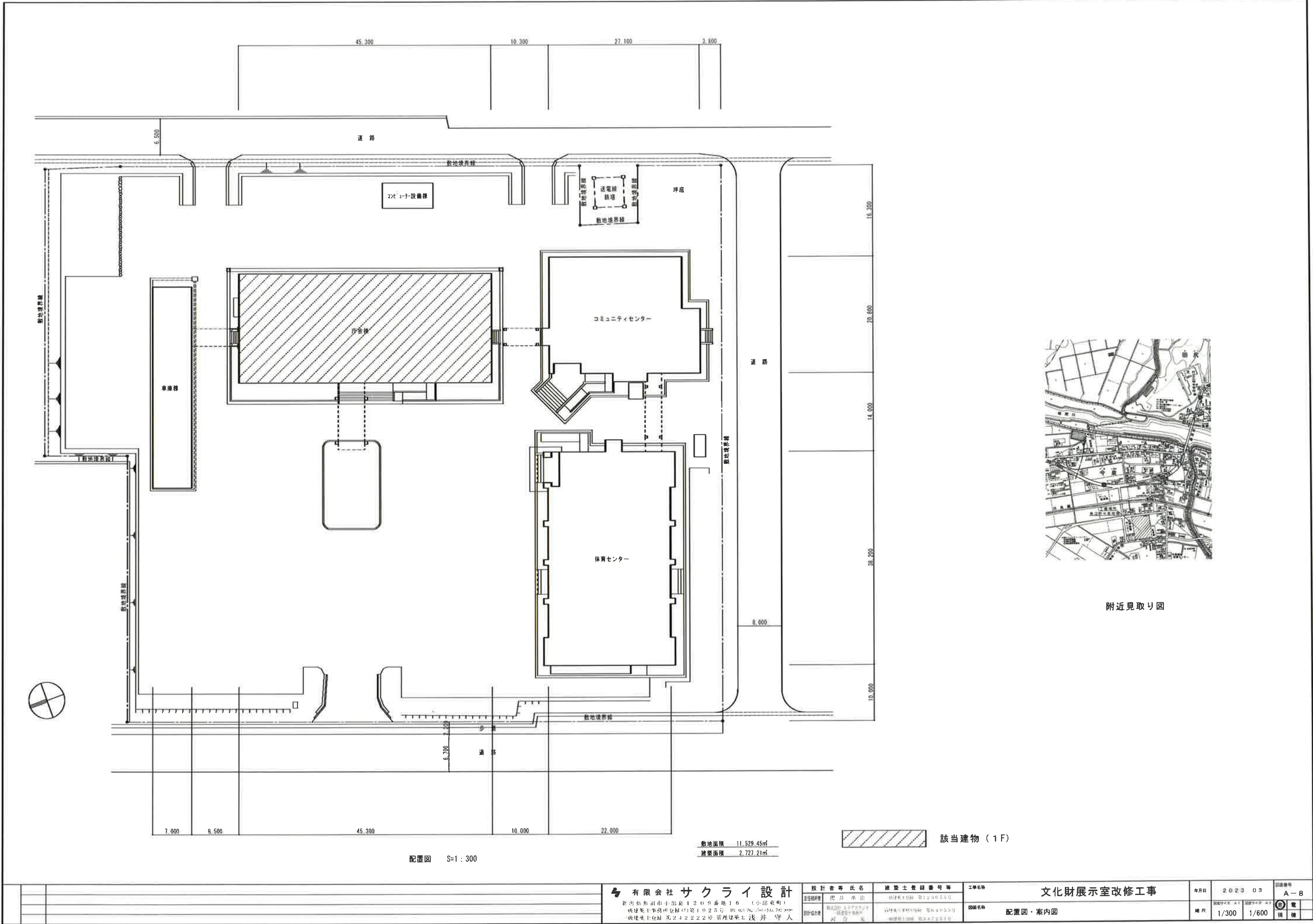
[illegible]

[illegible]





⑩追加特記	1 公共事業労務費調査への協力	※協力する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	2 工事監理方式	共同監理    ・ 有り    ・ 無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	3 適用基準等	・ 営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室） ※工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課作成）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	4 総合図	※作成する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	5 工事成績評定	※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。 （様式等は、工事運行マニュアルによる。）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑥工事区分表	注）原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	<table><tr><th colspan="2">項 目</th><th>建</th><th>電</th><th>空</th><th>街</th><th>界</th><th>備 考</th></tr><tr><td colspan="8">躯体関係</td></tr><tr><td rowspan="5">1. RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部</td><td>貫通ｽﾘｰﾌ材及び取付け</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>補強を要する型枠材及び取付け</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>補強を要しない型枠材及び取付け</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>防火区画、防煙区画</td></tr><tr><td>貫通孔・開口部の墨出し</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>防火区画、防煙区画</td></tr><tr><td>貫通孔・開口部の補強</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">ｽﾘｰﾌ・型枠の穴埋め</td><td>ｽﾘｰﾌ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>2. S・SRC造（はり・貫通口）</td><td>S・SRC造貫通鋼管鋼管ｽﾘｰﾌ・補強</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">3. 設備機器の基礎</td><td>使用されたｽﾘｰﾌの穴埋め</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>予備ｽﾘｰﾌの穴埋め</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>建築設計図に記入のあるもの</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋外・屋上の基礎</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">仕 上 げ 関 係</td><td>屋上基礎で押さえコンにｱﾝｶｰしない軽微なもの</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>機器取付け用ｱﾝｶｰ・架台</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋内受水ﾀﾝｸ用の基礎</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>軽鉄天井・壁下地</td><td>補強を用いるｽﾍﾞｰﾄﾞの切り込み及び下地の補強</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">電 気 関 係</td><td>軽鉄天井・壁下地</td><td>補強を要しないｽﾍﾞｰﾄﾞの切り込み</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>開口部の墨出し</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>電気配管配線</td><td>機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>二次側</td></tr><tr><td>機器付属の制御盤への電源供給配管配線</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>一次側</td></tr><tr><td>機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="8">その他（工事区分を特に間違えやすい項目）</td></tr><tr><td>天井材</td><td>取外し再取付（各種配管配線作業用）</td><td>○</td><td>△</td><td>△</td><td>△</td><td>△</td><td>小規模は要協議</td></tr><tr><td>床はつり補修</td><td>各種配管配線作業用</td><td>○</td><td>△</td><td>△</td><td>△</td><td>△</td><td>小規模は要協議</td></tr><tr><td>流し台、ガス台</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>便所手洗いﾀﾝｸ</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>衛生陶器は衛生設備</td></tr><tr><td>洗面化粧台</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>ガス漏れ警報器</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>24h換気扇</td><td>機器納入</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>取付は電気設備</td></tr><tr><td>運動スイッチ</td><td>取付</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>機器納入は衛生設備</td></tr><tr><td>湯沸器</td><td>機器納入</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>取付は電気設備</td></tr><tr><td>運動スイッチ</td><td>取付</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>機器納入は衛生設備</td></tr><tr><td>7 発生材の処理等</td><td colspan="2">① 3. 12）</td></tr><tr><td>1 再生資材の利用</td><td colspan="2">下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。</td></tr><tr><td>再生資材名</td><td>規 格</td><td>使用箇所</td><td>再資源化施設名・所在地</td><td>備 考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2 建設発生土の利用</td><td colspan="2">盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。</td></tr><tr><td>発注機関</td><td>工 事 名</td><td>発生場所</td><td>施工会社名・連絡先</td><td>備 考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3 建設発生土の搬出</td><td colspan="2">工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。</td></tr><tr><td>受入工事名／施設名称</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>工事場所／施設所在地</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>連絡先</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>仮置場所の有無</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>備考</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>⑩追加特記</td><td colspan="2">④ 建設廃棄物の搬出 工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。</td><td colspan="2">⑩追加特記</td></tr><tr><td colspan="2">搬出する廃棄物名</td><td colspan="2">廃プラ類 等</td><td>金属類 等</td></tr><tr><td colspan="2">処理施設名称</td><td colspan="2">魚沼環境（株）</td><td>（有）渡辺鋼鉄店</td></tr><tr><td colspan="2">施設所在地</td><td colspan="2">魚沼市青島764-1</td><td>魚沼市四日町381-1</td></tr><tr><td colspan="2">連絡先</td><td colspan="2">025-792-1895</td><td>025-792-6140</td></tr><tr><td colspan="2">備考</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td colspan="5">上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。</td></tr><tr><td colspan="5">5 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。</td></tr><tr><td colspan="5">6 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。</td></tr><tr><td colspan="5">7 協議について 建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。</td></tr><tr><td>化学物質の濃度測定</td><td colspan="4">① 測定時期 測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空調と設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。 測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時とする。 ※ 測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6）の措置を講じる時間を見込むこと。 ② 測定対象物質 ※ホルムアルデヒド（指定値0.08ppm以下） ※トルエン（指定値0.07ppm以下） ※キシレン（指定値0.05ppm以下） ※エチルベンゼン（指定値0.08ppm以下） ※スチレン（指定値0.05ppm以下） ※パラジクロロベンゼン（指定値0.04ppm以下） ③ 測定室 ・ 室（測定箇所 箇所） ・ 室（測定箇所 箇所） ・ 室（測定箇所 箇所） ・ 室（測定箇所 箇所） ④ 測定方法 測定機器 ※パッシブ型採取機器 ・ 監督員の承諾する機器 測定要領（パッシブ型測定法の場合） ※ 測定前の措置 測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。 ※ 測定は次のイ～ハによる。 イ 上記測定前の措置の状況のまま測定する。 ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 ※ その他 上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。 ※ 測定結果の分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。 ⑤ 測定結果が指針値を超えた場合の措置 ※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4）、5）により、測定を行う。 ⑥ 報告書の提出 ※完了検査日までに報告書を提出する。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了までに測定結果速報を監督員に提出する。</td></tr><tr><td colspan="5">仕様書(そのVI) Ver. 020401</td></tr><tr><td>備考</td><td colspan="2">有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 〒957-0202 事務所電話（中）第1025号 TEL 025-792-1895 FAX 025-792-6960 西建設士会 第242222号 管理地所 浅井 守人</td><td>設計者等氏名 主任設計者 浅井 守人 設計協力者 阿部 晃 建築士登録番号等 主任建築士 阿部 晃（第1025号） 設計協力者 阿部 晃（第1025号） 建築士登録番号 第1025号</td><td>工事名称 文化財展示室改修工事 年度 2023.</td></tr></table>		項 目		建	電	空	街	界	備 考	躯体関係								1. RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通ｽﾘｰﾌ材及び取付け	○	○	○	○	○		補強を要する型枠材及び取付け	○						補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画	貫通孔・開口部の墨出し						防火区画、防煙区画	貫通孔・開口部の補強	○						ｽﾘｰﾌ・型枠の穴埋め	ｽﾘｰﾌ	○	○	○	○	○		2. S・SRC造（はり・貫通口）	S・SRC造貫通鋼管鋼管ｽﾘｰﾌ・補強	○					3. 設備機器の基礎	使用されたｽﾘｰﾌの穴埋め	○	○	○	○	○		予備ｽﾘｰﾌの穴埋め	○	○	○	○	○		建築設計図に記入のあるもの	○						室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）	○	○	○				屋外・屋上の基礎	○						仕 上 げ 関 係	屋上基礎で押さえコンにｱﾝｶｰしない軽微なもの		○	○	○			機器取付け用ｱﾝｶｰ・架台		○	○	○			屋内受水ﾀﾝｸ用の基礎	○						軽鉄天井・壁下地	補強を用いるｽﾍﾞｰﾄﾞの切り込み及び下地の補強	○					電 気 関 係	軽鉄天井・壁下地	補強を要しないｽﾍﾞｰﾄﾞの切り込み		○	○			開口部の墨出し			○	○			電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○	○	二次側	機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○					一次側	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線		○	○				その他（工事区分を特に間違えやすい項目）								天井材	取外し再取付（各種配管配線作業用）	○	△	△	△	△	小規模は要協議	床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△	△	小規模は要協議	流し台、ガス台		○						便所手洗いﾀﾝｸ		○					衛生陶器は衛生設備	洗面化粧台						○		ガス漏れ警報器								24h換気扇	機器納入					○	取付は電気設備	運動スイッチ	取付			○			機器納入は衛生設備	湯沸器	機器納入					○	取付は電気設備	運動スイッチ	取付			○			機器納入は衛生設備	7 発生材の処理等	① 3. 12）		1 再生資材の利用	下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。		再生資材名	規 格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備 考																2 建設発生土の利用	盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。		発注機関	工 事 名	発生場所	施工会社名・連絡先	備 考											3 建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。		受入工事名／施設名称					工事場所／施設所在地					連絡先					仮置場所の有無					備考					⑩追加特記	④ 建設廃棄物の搬出 工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。		⑩追加特記		搬出する廃棄物名		廃プラ類 等		金属類 等	処理施設名称		魚沼環境（株）		（有）渡辺鋼鉄店	施設所在地		魚沼市青島764-1		魚沼市四日町381-1	連絡先		025-792-1895		025-792-6140	備考					上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。					5 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。					6 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。					7 協議について 建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。					化学物質の濃度測定	① 測定時期 測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空調と設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。 測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時とする。 ※ 測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6）の措置を講じる時間を見込むこと。 ② 測定対象物質 ※ホルムアルデヒド（指定値0.08ppm以下） ※トルエン（指定値0.07ppm以下） ※キシレン（指定値0.05ppm以下） ※エチルベンゼン（指定値0.08ppm以下） ※スチレン（指定値0.05ppm以下） ※パラジクロロベンゼン（指定値0.04ppm以下） ③ 測定室 ・ 室（測定箇所 箇所） ・ 室（測定箇所 箇所） ・ 室（測定箇所 箇所） ・ 室（測定箇所 箇所） ④ 測定方法 測定機器 ※パッシブ型採取機器 ・ 監督員の承諾する機器 測定要領（パッシブ型測定法の場合） ※ 測定前の措置 測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。 ※ 測定は次のイ～ハによる。 イ 上記測定前の措置の状況のまま測定する。 ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 ※ その他 上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。 ※ 測定結果の分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。 ⑤ 測定結果が指針値を超えた場合の措置 ※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4）、5）により、測定を行う。 ⑥ 報告書の提出 ※完了検査日までに報告書を提出する。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了までに測定結果速報を監督員に提出する。				仕様書(そのVI) Ver. 020401					備考	有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 〒957-0202 事務所電話（中）第1025号 TEL 025-792-1895 FAX 025-792-6960 西建設士会 第242222号 管理地所 浅井 守人		設計者等氏名 主任設計者 浅井 守人 設計協力者 阿部 晃 建築士登録番号等 主任建築士 阿部 晃（第1025号） 設計協力者 阿部 晃（第1025号） 建築士登録番号 第1025号
項 目		建	電	空	街	界	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
躯体関係																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1. RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通ｽﾘｰﾌ材及び取付け	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	補強を要する型枠材及び取付け	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	貫通孔・開口部の墨出し						防火区画、防煙区画																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	貫通孔・開口部の補強	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
ｽﾘｰﾌ・型枠の穴埋め	ｽﾘｰﾌ	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	2. S・SRC造（はり・貫通口）	S・SRC造貫通鋼管鋼管ｽﾘｰﾌ・補強	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
3. 設備機器の基礎	使用されたｽﾘｰﾌの穴埋め	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	予備ｽﾘｰﾌの穴埋め	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	建築設計図に記入のあるもの	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	屋外・屋上の基礎	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
仕 上 げ 関 係	屋上基礎で押さえコンにｱﾝｶｰしない軽微なもの		○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	機器取付け用ｱﾝｶｰ・架台		○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	屋内受水ﾀﾝｸ用の基礎	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	軽鉄天井・壁下地	補強を用いるｽﾍﾞｰﾄﾞの切り込み及び下地の補強	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
電 気 関 係	軽鉄天井・壁下地	補強を要しないｽﾍﾞｰﾄﾞの切り込み		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	開口部の墨出し			○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○	○	二次側																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○					一次側																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
その他（工事区分を特に間違えやすい項目）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
天井材	取外し再取付（各種配管配線作業用）	○	△	△	△	△	小規模は要協議																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△	△	小規模は要協議																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
流し台、ガス台		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
便所手洗いﾀﾝｸ		○					衛生陶器は衛生設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
洗面化粧台						○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
ガス漏れ警報器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
24h換気扇	機器納入					○	取付は電気設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
運動スイッチ	取付			○			機器納入は衛生設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
湯沸器	機器納入					○	取付は電気設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
運動スイッチ	取付			○			機器納入は衛生設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
7 発生材の処理等	① 3. 12）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
1 再生資材の利用	下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
再生資材名	規 格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2 建設発生土の利用	盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
発注機関	工 事 名	発生場所	施工会社名・連絡先	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
3 建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
受入工事名／施設名称																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
工事場所／施設所在地																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
連絡先																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
仮置場所の有無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
⑩追加特記	④ 建設廃棄物の搬出 工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。		⑩追加特記																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
搬出する廃棄物名		廃プラ類 等		金属類 等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
処理施設名称		魚沼環境（株）		（有）渡辺鋼鉄店																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施設所在地		魚沼市青島764-1		魚沼市四日町381-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
連絡先		025-792-1895		025-792-6140																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
5 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
6 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
7 協議について 建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
化学物質の濃度測定	① 測定時期 測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空調と設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。 測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時とする。 ※ 測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6）の措置を講じる時間を見込むこと。 ② 測定対象物質 ※ホルムアルデヒド（指定値0.08ppm以下） ※トルエン（指定値0.07ppm以下） ※キシレン（指定値0.05ppm以下） ※エチルベンゼン（指定値0.08ppm以下） ※スチレン（指定値0.05ppm以下） ※パラジクロロベンゼン（指定値0.04ppm以下） ③ 測定室 ・ 室（測定箇所 箇所） ・ 室（測定箇所 箇所） ・ 室（測定箇所 箇所） ・ 室（測定箇所 箇所） ④ 測定方法 測定機器 ※パッシブ型採取機器 ・ 監督員の承諾する機器 測定要領（パッシブ型測定法の場合） ※ 測定前の措置 測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。 ※ 測定は次のイ～ハによる。 イ 上記測定前の措置の状況のまま測定する。 ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 ※ その他 上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。 ※ 測定結果の分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。 ⑤ 測定結果が指針値を超えた場合の措置 ※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4）、5）により、測定を行う。 ⑥ 報告書の提出 ※完了検査日までに報告書を提出する。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了までに測定結果速報を監督員に提出する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
仕様書(そのVI) Ver. 020401																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
備考	有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 〒957-0202 事務所電話（中）第1025号 TEL 025-792-1895 FAX 025-792-6960 西建設士会 第242222号 管理地所 浅井 守人		設計者等氏名 主任設計者 浅井 守人 設計協力者 阿部 晃 建築士登録番号等 主任建築士 阿部 晃（第1025号） 設計協力者 阿部 晃（第1025号） 建築士登録番号 第1025号	工事名称 文化財展示室改修工事 年度 2023.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						



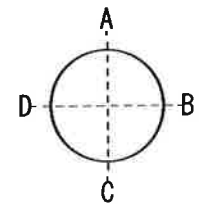
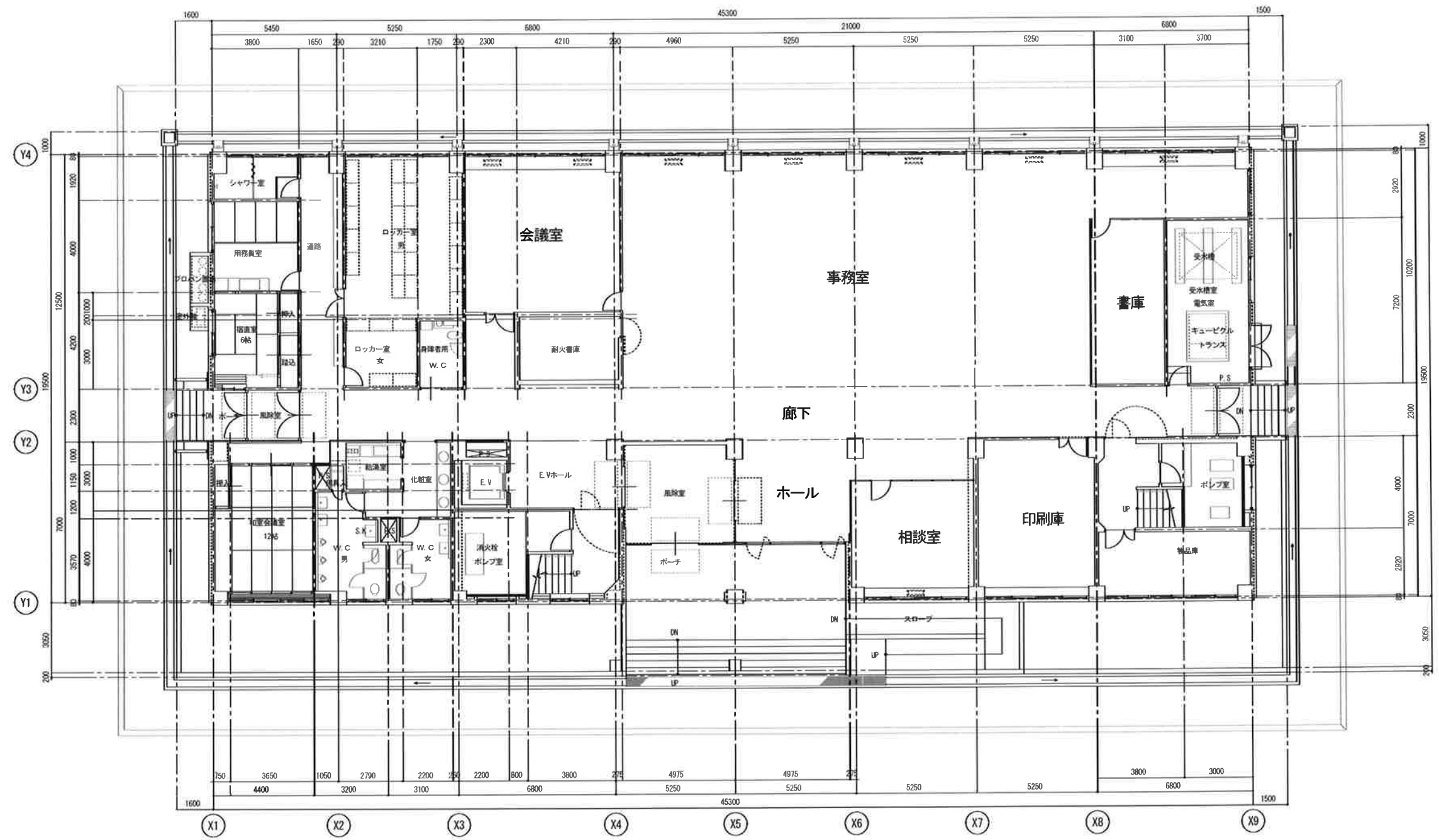
附近見取り図

有限会社サクライ設計				設計者等氏名	建築士登録番号等	工事名称	年月日	図面番号
新潟県新潟市小出区1-2-19番地16 (小出東町)				櫻井 卓治	新潟県登録 第125055号	文化財展示室改修工事	2023 03	A-8
建築業士事務所登録(第1925号) 19-0276 (新潟県)				株式会社 サクライ設計	新潟県登録 第125055号	図面名称	縮尺	電
-破産廃止登録 第242222号 管轄建築士 浅井 守人				株式会社	新潟県登録 第125055号	配置図・案内図	1/300 1/600	機



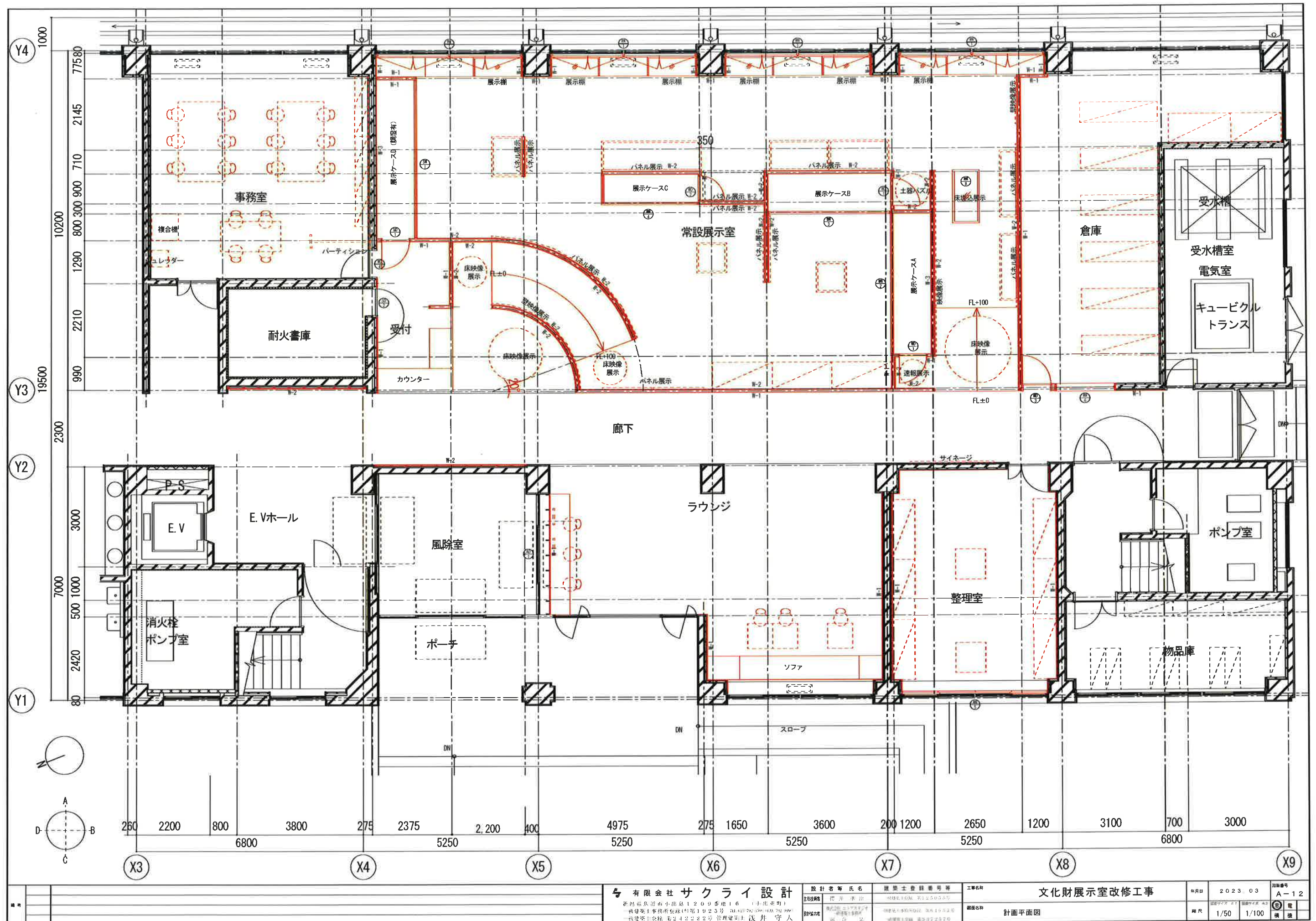


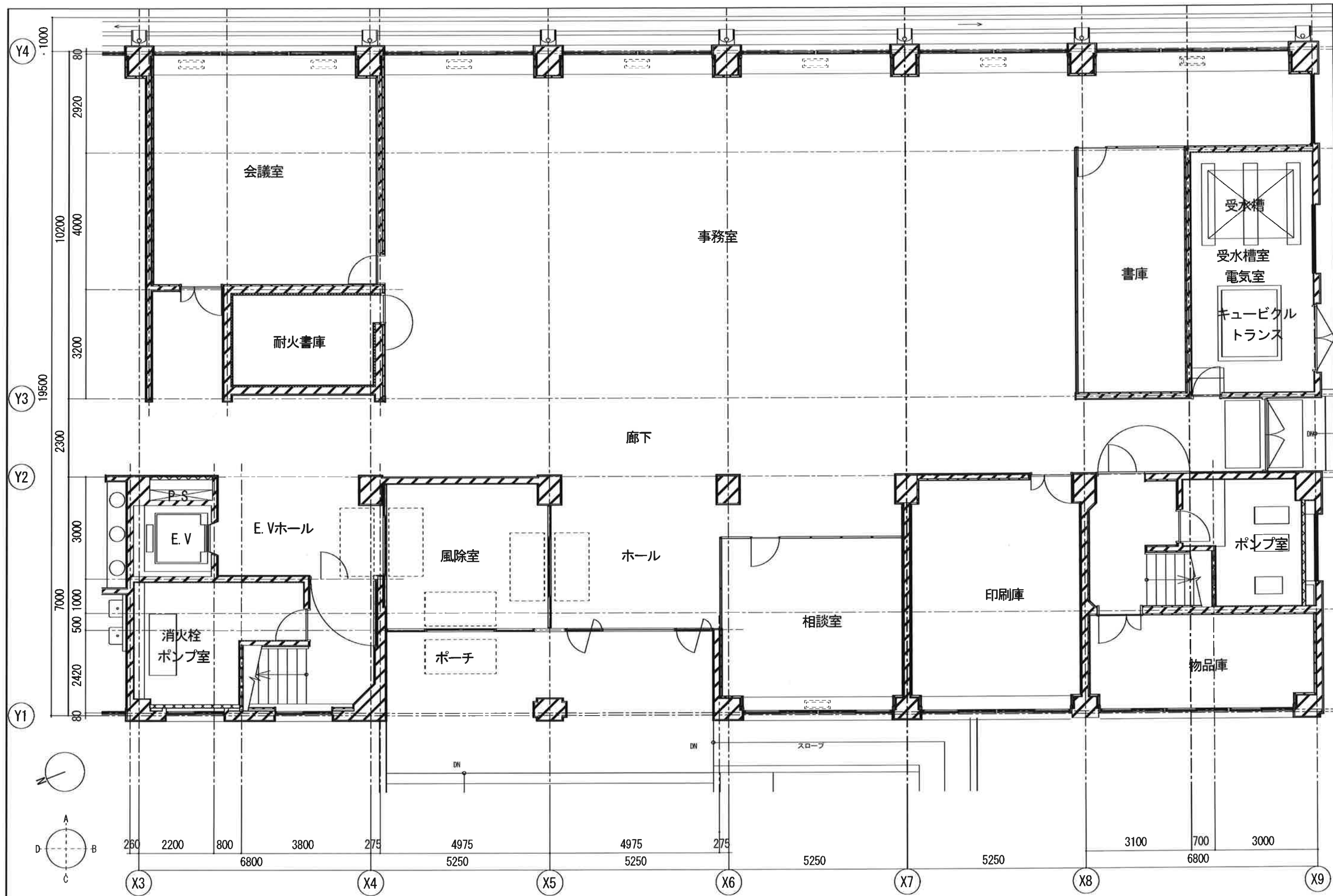




設計者 株式会社 サクライ 設計		設計者 氏名 櫻井 孝治	建築士登録番号 第123033号	工事名称 文化財展示室改修工事	年月日 2023.03	図面番号 A-11
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-2-1 (小田急ビル)		設計者 氏名 櫻井 孝治	建築士登録番号 第123033号	図面名称 既存平面図	縮尺 1/100	1/200
一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL:03-7902-0900 FAX:03-7902-0901		設計者 氏名 櫻井 孝治	建築士登録番号 第123033号			
一級建築士事務所 第24222号 登録建築士 浅井 守人		設計者 氏名 櫻井 孝治	建築士登録番号 第123033号			

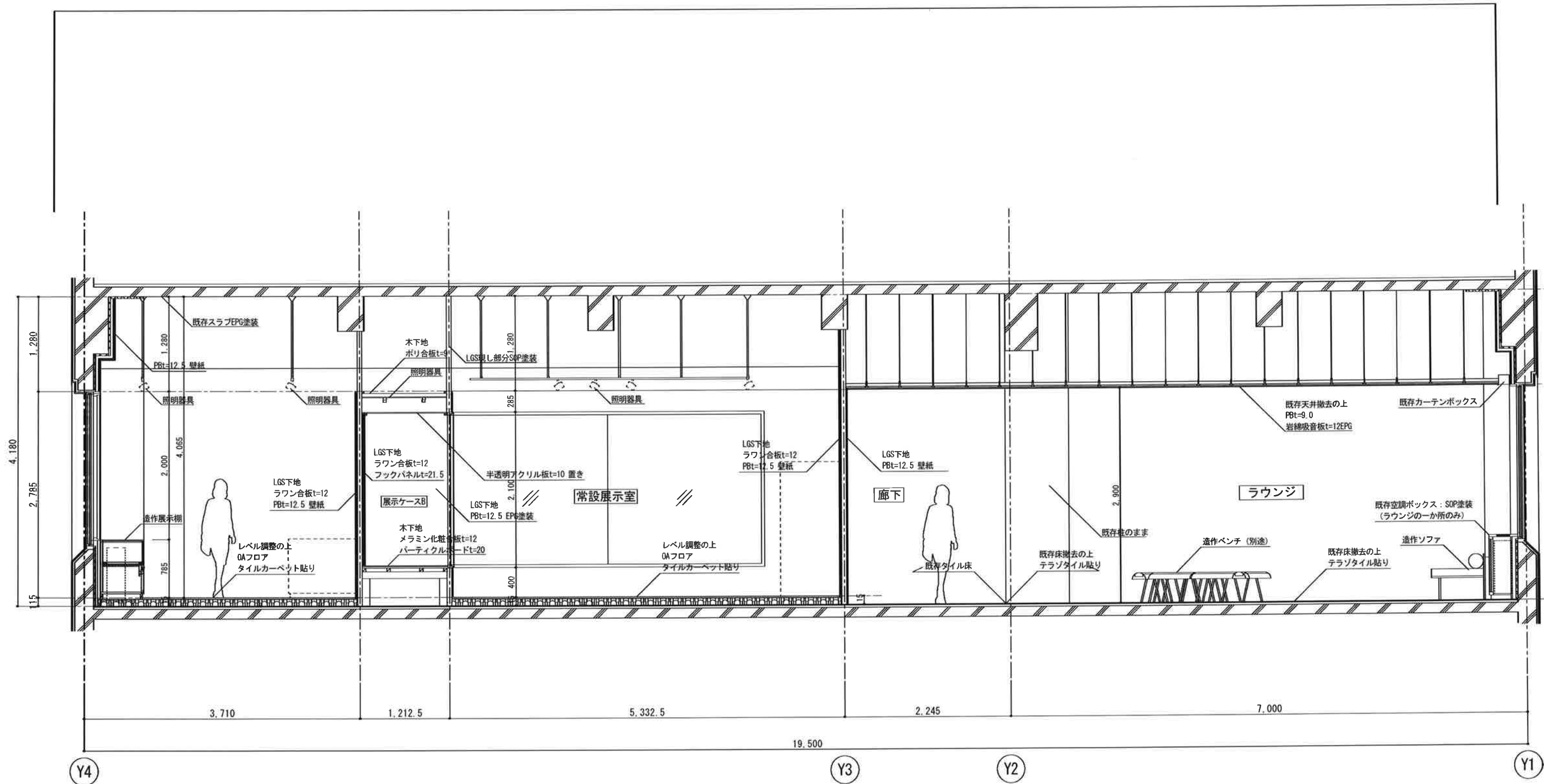






図号	有限会社 サクライ設計 〒460-0001 名古屋市中区1-20-9 青地16 (小出町) TEL 052-702-3580 FAX 052-702-3581 E-MAIL sakurai@sakurai.co.jp 代表取締役 浅井 守人	設計者等氏名 主任設計者 浅井 守人 設計協力者 株式会社 サクライ設計 浅井 守人	建築士登録番号等 浅井 守人 第123456号 株式会社 サクライ設計 第64534号 浅井 守人 第12345号	工事名称 文化財展示室改修工事 図面名称 既存平面図	年月日 2023.03 縮尺 1/50 1/100 図面番号 A-13 電 機 機 械
----	---	---	--	-------------------------------------	--





図号	有限会社 サクライ 設計				設計者等氏名	建築士登録番号等	工事名称	年月日	2023 03	図面番号	A-14
	新田島魚沼市小出1209番地16 (小出町)				櫻井 康治	1259553	文化財展示室改修工事	縮尺	1/25	1/50	電
	一般建築士事務所登録(第1925号) TEL:0257-920-1000 FAX:0257-920-1000				株式会社 サクライ 設計	新田島魚沼市小出1209番地16 (小出町)	計画図	縮尺	1/25	1/50	模
	特選家士登録(第24222号) 建築士 浅井 守人				設計協力者	新田島魚沼市小出1209番地16 (小出町)	計画図	縮尺	1/25	1/50	模

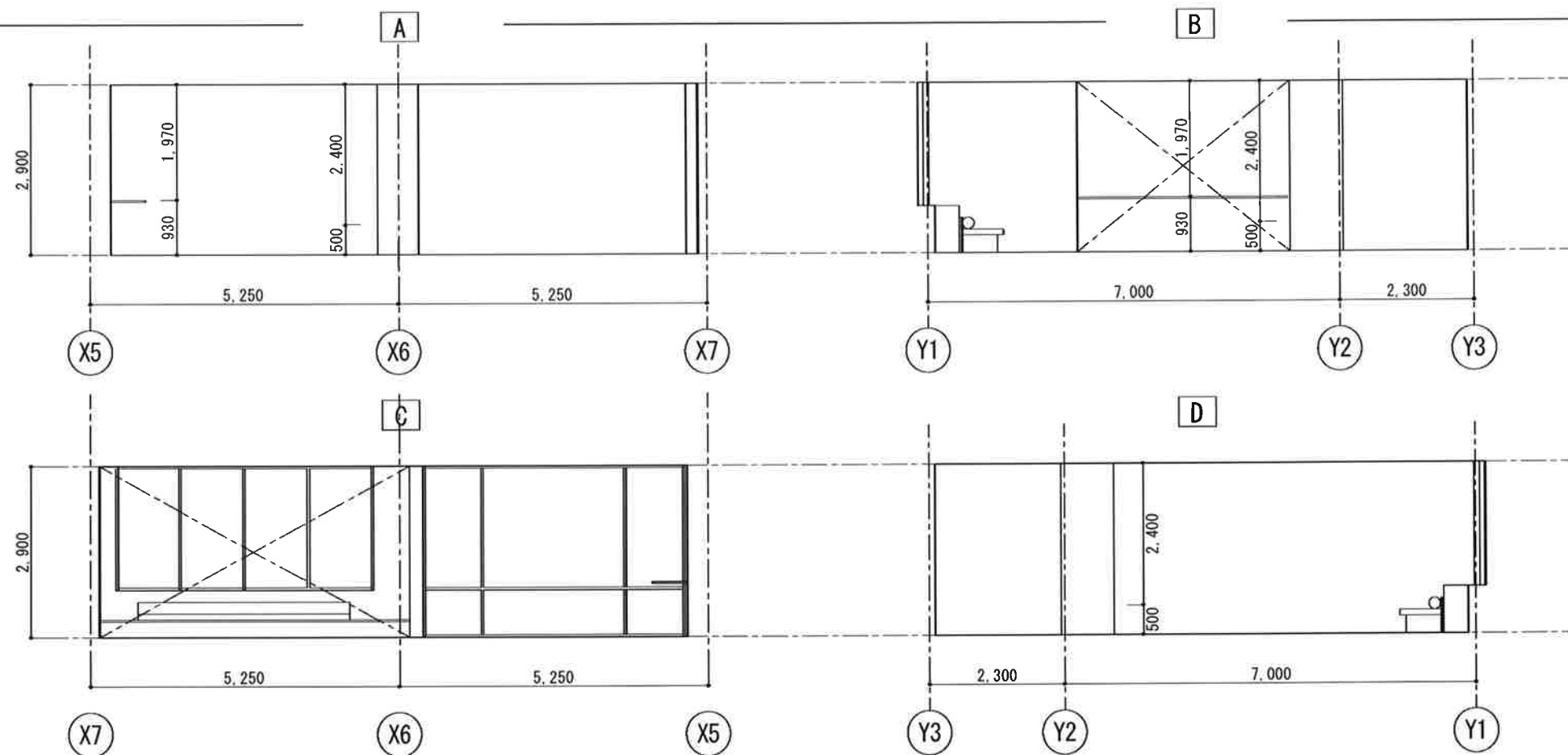




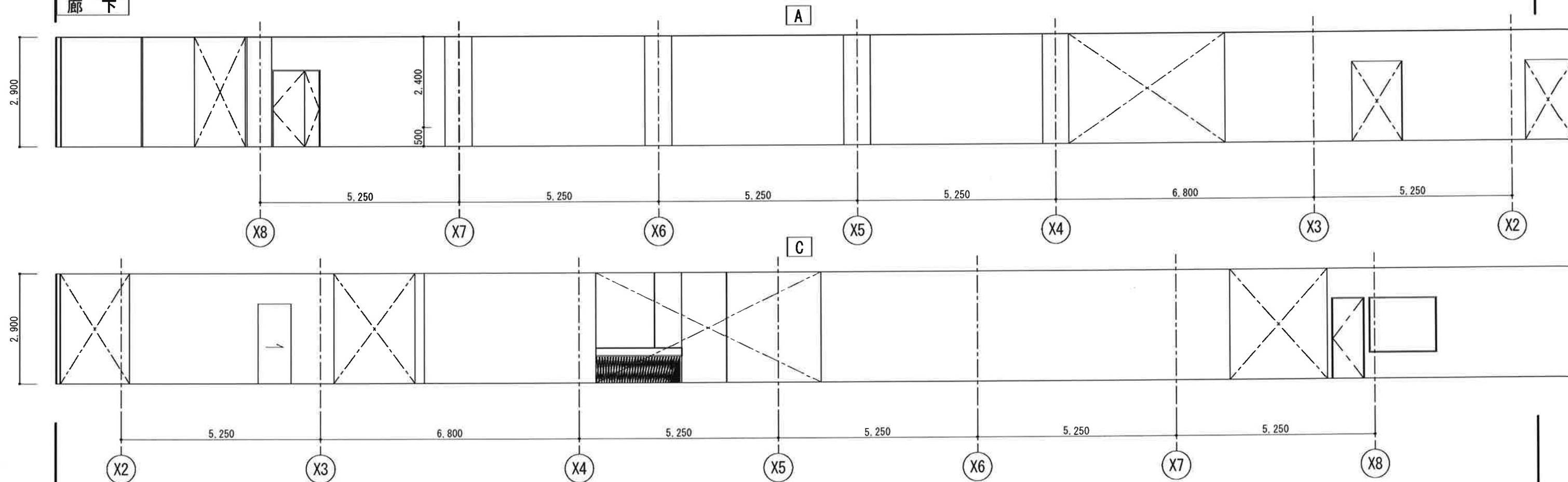
	26台	ダウンライト (XND2506SY LE9-Panasonic) 指定色塗装
	10台	ベースライトL1500 (NNF41500 LR9-Panasonic) 調光あり
	10台	ベースライトL1200 (NNF41200 LR9-Panasonic) 調光あり
	6台	ベースライトL1250 (NNLKA1509-JHLN4600ENT LE9-Panasonic)
	50台	スポットライト (KTS01006B LE1-Panasonic) ライティングレールブラック

[illegible]

ラウンジ



廊下



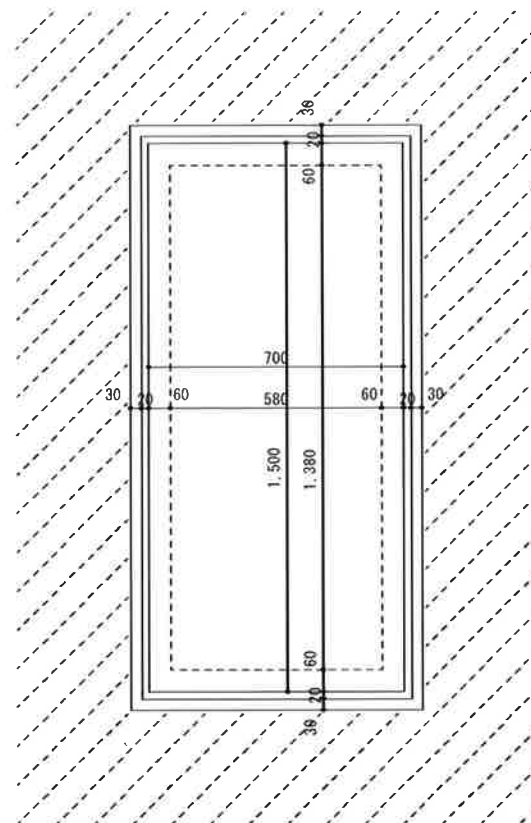
有限会社 サクライ 設計				設計者等氏名	建築士登録番号等	工事名称	年月日	図面番号
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-2-1 小田東町1丁目1-2 5号 10-02-22-256-140 22-2290				櫻井 孝治	22-230533	文化財展示室改修工事	2023 03	A-16
-税理士事務所 第242222号 管理建築士 浅井 守人				株式会社 サクライ 設計	22-230533	計画展開図	縮尺	1/50 1/100
				図面名称				電 機

[illegible]

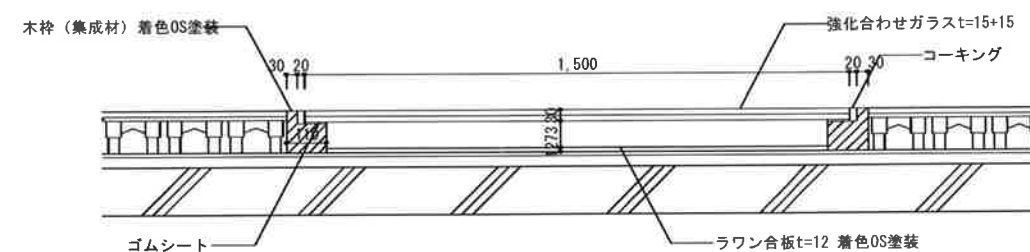
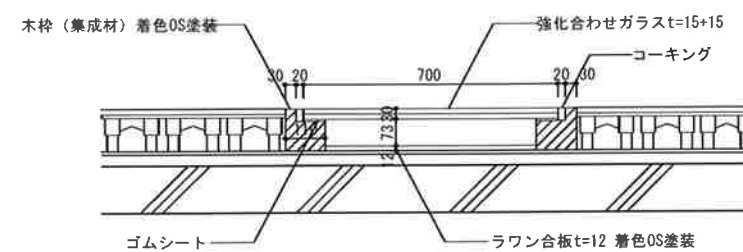


記号	見込	数量	SW 1	80	1	WM 8	115	1	SD 1	120	1	SD 2	270	1	
姿 図															
名 称	スチール製FIX窓					木製FIX窓		スチール製開き戸		スチール製開き戸（改修）					
場 所	常設展示室					常設展示室		常設展示室		常設展示室					
仕 上	スチール製SOP塗装					集成材 ウレタン塗装		スチール板SOP塗装		片面のみSOP塗装					
硝 子	FLガラスt=6					強化合わせガラスt=15+15		-		-					
金 物	-					-		コインロック、隠し丁番		既存のまま					
備 考	飛散防止フィルム							その他付属金物一式 コインロック：C-484（タキゲン）		既存のまま 建具枠もSOP再塗装					
記号	見込	数量	AD 1	80	1										
姿 図															
名 称	アルミ製自動扉（改修）														
場 所	風除室														
仕 上	既存のまま														
硝 子	既存のまま														
金 物	-														
備 考	飛散防止フィルム（ミルクィーホワイト）														
記号	見込	数量													
姿 図															
名 称															
場 所															
仕 上															
硝 子															
金 物															
備 考															

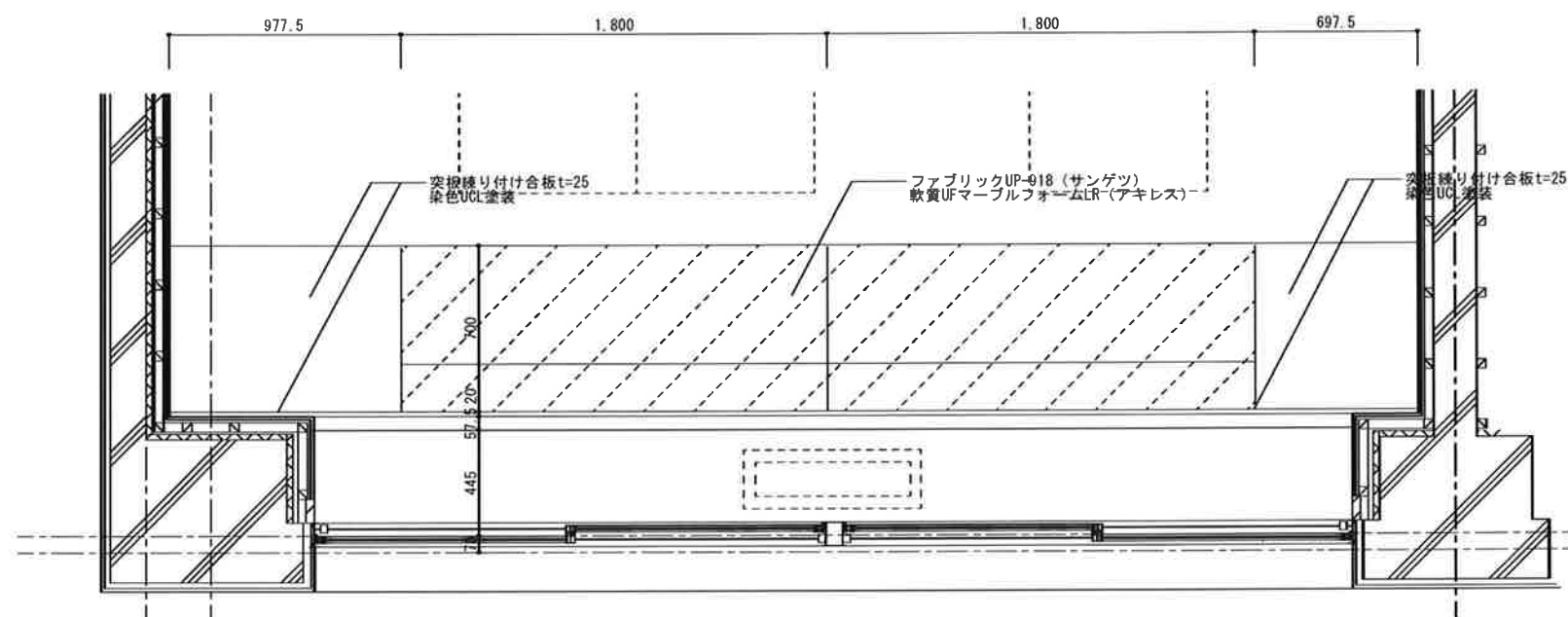
備考				有限会社 サクライ 設計 〒425-0001 静岡県浜松市小出島1-20-9 高松1-6（小出東町） 一級建築士事務所登録（〒425-0001）TEL 053-782-3280 FAX 053-782-9080 一級建築士登録 第2422222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等氏名	建築士登録番号等	工事名称	年月日	2023.03	図面番号	A-18		
					主任設計者	櫻井 孝治	（一級建築士登録 第125955号）	文化財展示室改修工事					
					設計協力者	株式会社 サクライ 設計	（一級建築士事務所登録 第649533号） （一級建築士登録 第3334237号）	図面名称	建具表 2	縮尺	1/50 1/100	図面サイズ A3	電 機



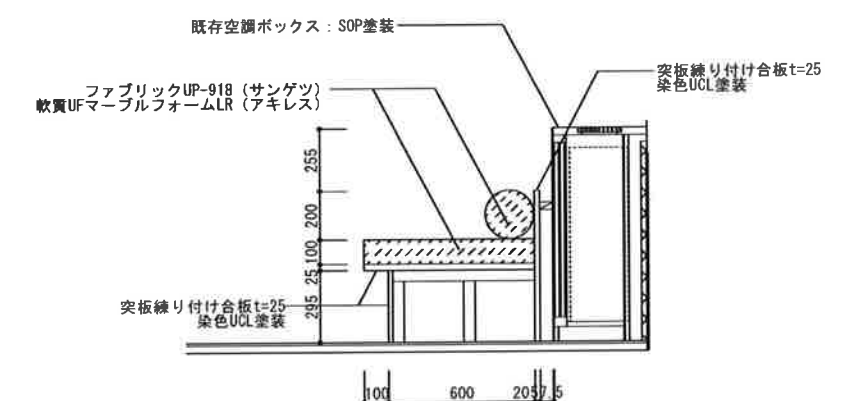
### 平面图



### 断面図

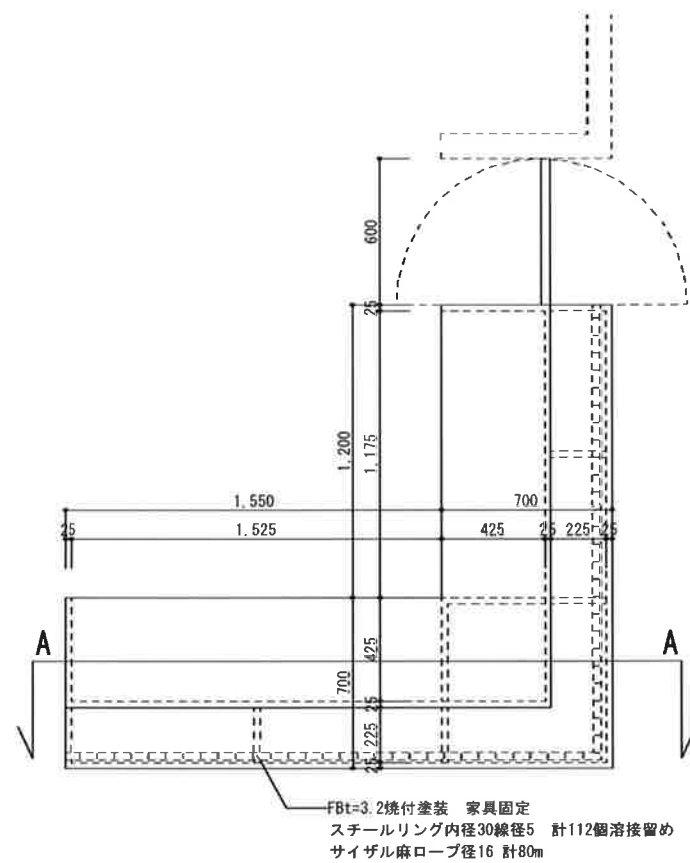


### 平面图

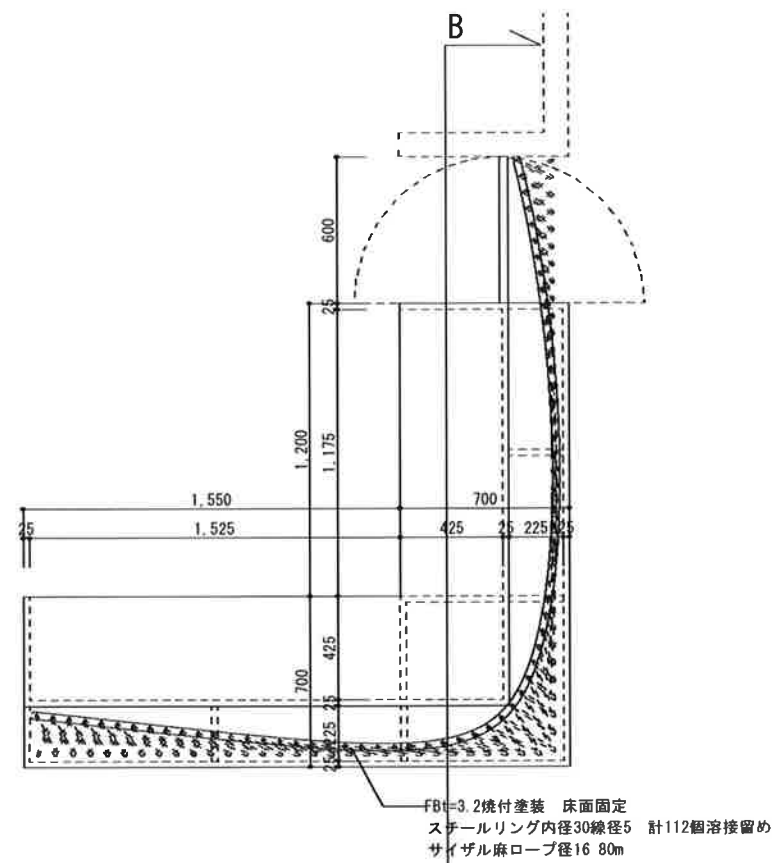


### 断面図

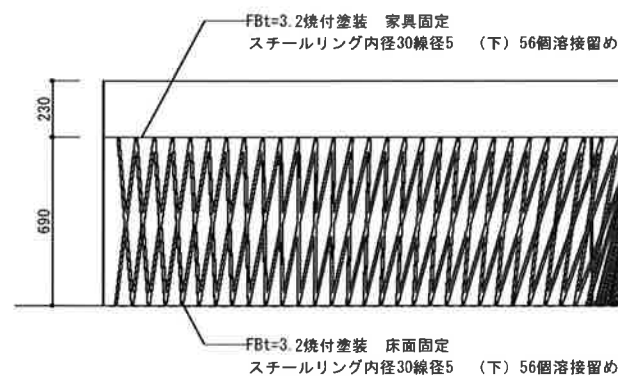
備考				有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出町) 一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-742-8766 FAX 742-9999 一級建築士登録 第2442222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等氏名	建築士登録番号等	工事名称	文化財展示室改修工事	年月日	2023. 03	図面番号	A-19
					主担任者	櫻井 淳治	一級建築士登録 第1253553号					



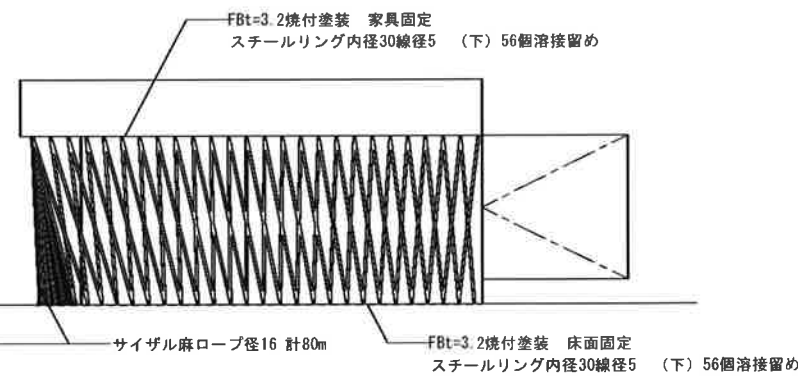
平面図（見上げ）1/15



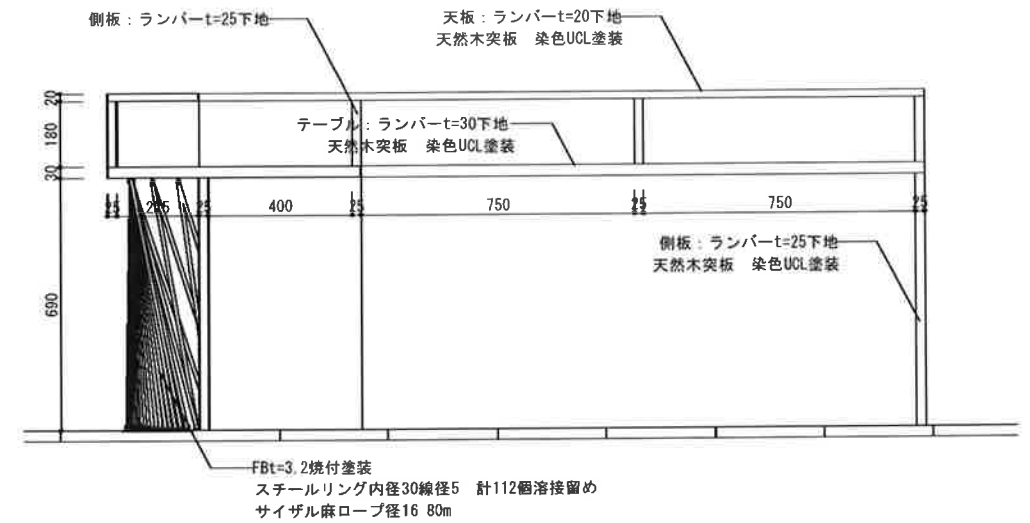
平面図（見下げ）1/15



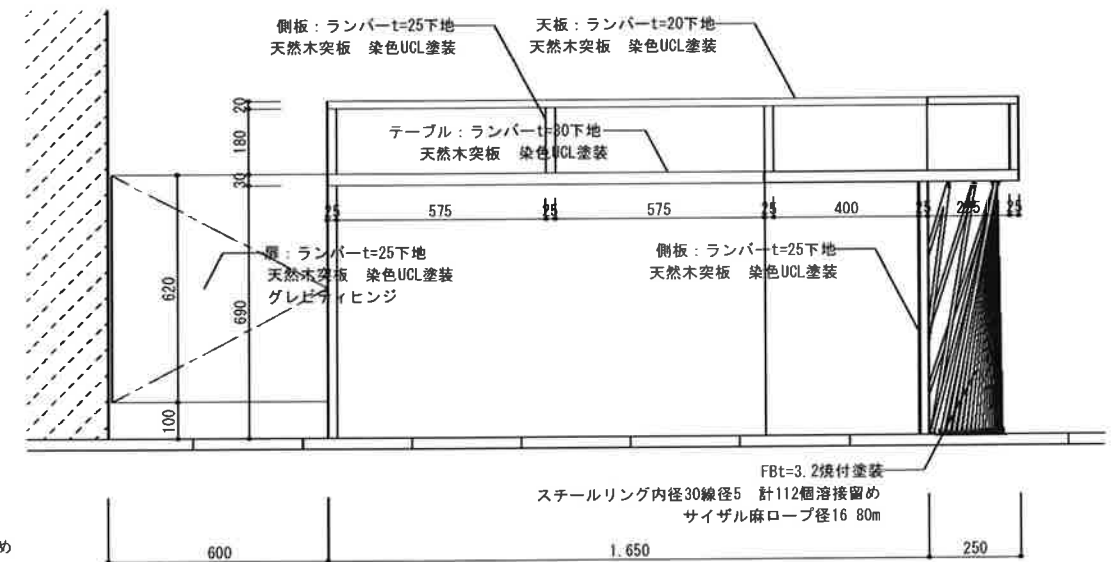
展開図a 1/15



展開図b 1/15



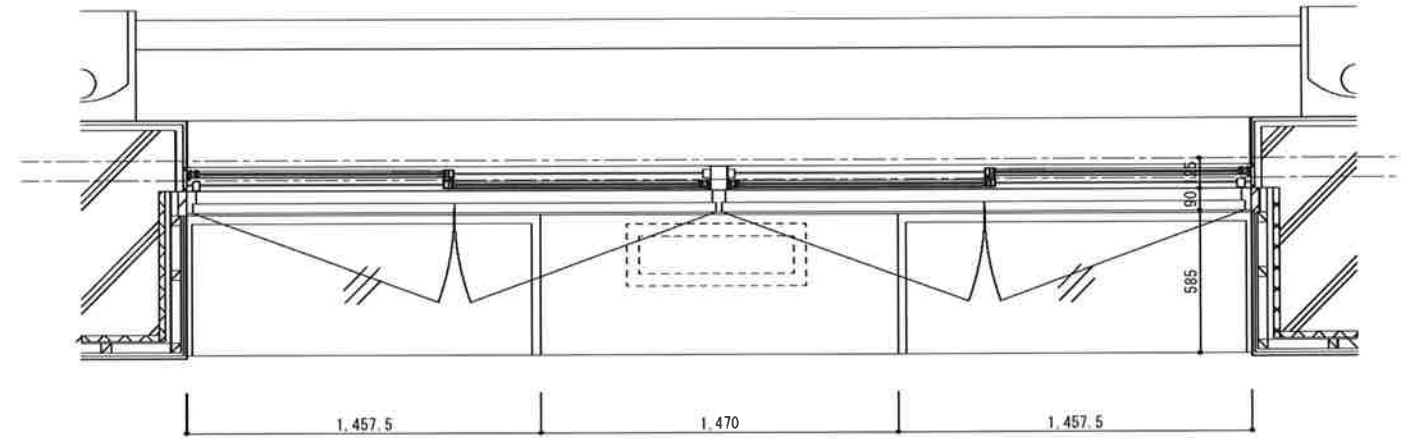
断面図A 1/10



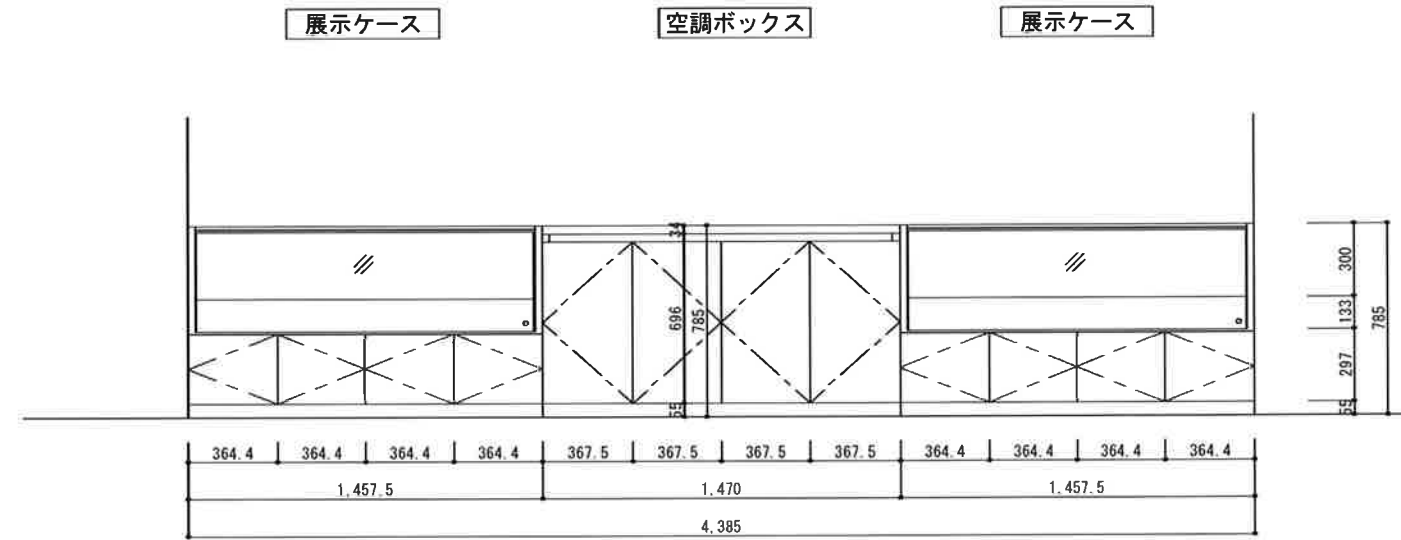
断面図B 1/10

図号		有限会社 サクライ設計 〒500-0001 岐阜県岐阜市小出島1-2-09番地16（小出島町） 岐阜県岐阜市小出島1-2-09番地16（小出島町） 岐阜県岐阜市小出島1-2-09番地16（小出島町）	設計者等氏名 主任設計者 関 井 孝 治 設計協力者 関 井 孝 治	建築士登録番号等 建築士登録番号 第1250353号 建築士登録番号 第1250353号	工事名称 文化財展示室改修工事 図面名称 部分詳細図2（カウンター） 年月日 2023.03 縮尺 1/10・1/15・1/20・1/30 図章
----	--	--	--	--	--

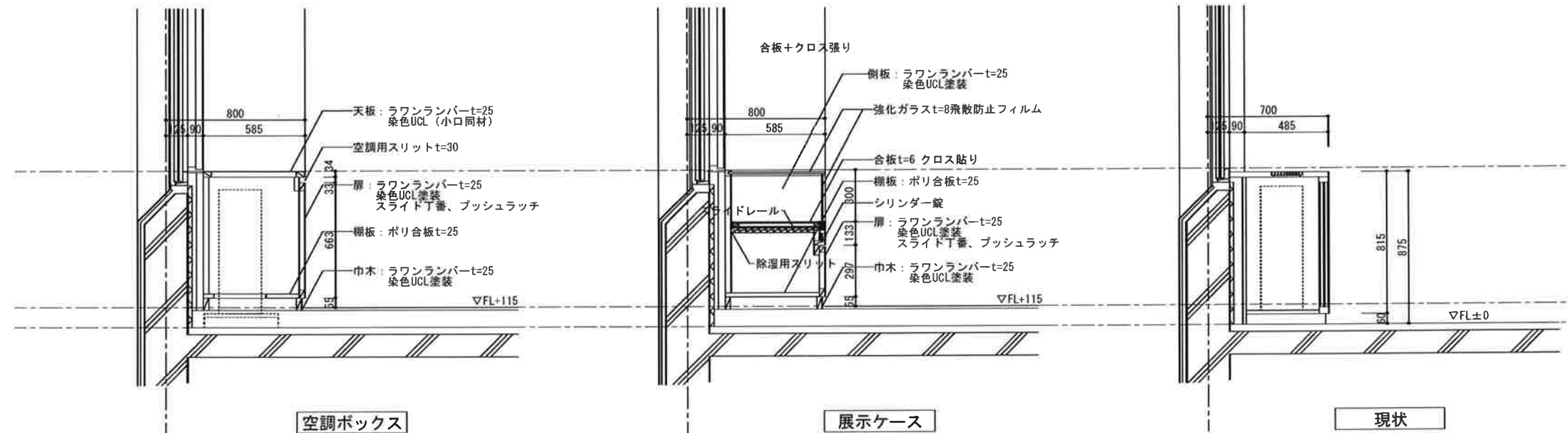




平面図



立面図



断面図

備考	株式会社 サクライ設計		設計者等氏名	建築士登録番号等	工事名称	年月日	2023.03	図面番号	A-21
	〒244-0292 千葉県市川市小島1-20-9番地16 (小島東町) 一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 0476-742-1080 FAX 0476-742-0760 内線07 511 022 242 2号 管理建築士 浅井 守人		主任設計者 浅井 幸治	123456789	文化財展示室改修工事	縮尺	1/15	1/30	電機

魚沼市文化財展示室改修工事（電気設備）
魚沼市教育委員会事務局生涯学習課
工 事 場 所 魚 沼 市 今 泉 地 内
建 物 名 称 旧 田 神 庁 舎
構 造 R C
階 数 3 階
延 べ 面 積 (㎡)
消 防 令 別 表 第 一
備 考
仕 様 書
1. 共 通 仕 様
1. 本 共 通 仕 様 及 び 特 記 仕 様 に 記 載 さ れ て い な い 事 項 は、次 に よ る。
新 築 及 び 増 築 に 係 る 電 気 設 備 工 事 に お い て は、「国 土 交 通 省 大 臣 官 庁 庁 舎 補 助 監 修 公 共 建 築 工 事 補 助 金 支 付 要 領 (電 気 設 備 工 事 編)
最 新 年 版」及 び「構 造」とい う。及 び「国 土 交 通 省 大 臣 官 庁 庁 舎 補 助 設 置・環 境 課 監 修 公 共 建 築 設 備 工 事 補 助 金 支 付 要 領 (電 気 設 備 工 事 編)
最 新 年 版」(以 下「補 助 要 領」とい う。 )に よ る。
改 修 に 係 る 電 気 設 備 工 事 に お い て は、「国 土 交 通 省 大 臣 官 庁 庁 舎 補 助 監 修 公 共 建 築 改 修 工 事 補 助 金 支 付 要 領 (電 気 設 備 工 事 編)
最 新 年 版」(以 下「改 修 補 助 要 領」とい う。 )及 び「補 助 要 領」に 記 載 さ れ て い な い 事 項 は、補 助 要 領 に よ る。
2. 構 造 及 び 改 修 補 助 要 領 に 用 い ら れ て い る 用 語 を、次 の と お り 読 み 替 え る。
(1) 「工 事 請 負 契 約 書」を「魚 沼 市 財 務 課 監 理 設 計 監 理 費 基 準 契 約 書」(以 下「契 約 書」とい う。 )に 読 み 替 え る。
(2) 「監 督 職 員」を「監 督 員」に 読 み 替 え る。
3. 次 の 各 号 に 該 当 す る 構 造 及 び 改 修 補 助 要 領 の 項 目 に つ い て、構 造 及 び 改 修 補 助 要 領 の 規 定 を 別 表 に 置 き 換 え て 適 用 す る。(以 下「」]は、改 修 補 助 要 領 の 項 目 を 表 示)
(1) 第 1 編 第 1 章 1.1.2 [1.1.2] 用 語 の 定 義 の (1)、(3) 及 び (18)
(2) " 1.4.2 [1.4.2] 構 造 の 品 質 等 の (a) 及 び (b)
(3) " 1.4.4 [1.4.4] 構 造 の 検 査 等 の (a)
(4) " 1.6.1 [1.10.1] 工 事 検 査 の (b) 及 び (d)
4. 構 造 及 び 改 修 補 助 要 領 の 次 の 項 目 の 規 定 は 適 用 し な い。
第 1 編 第 1 章 1.1.2 [1.1.2] 用 語 の 定 義 の (19)
" 1.6.2 [1.10.2] 技 術 検 査
別 表
号 項 目 置 き 換 え た 後 の 構 造 及 び 改 修 補 助 要 領 の 規 定
(1) 1.1.2 [1.1.2] 用 語 の 定 義
7) 「監 督 員」とは、契 約 第 10 条 の 規 定 に よ り 受 注 者 に 通 知 さ れ た 者 を い う。
8) 「書 面」とは 発 行 年 月 日 が 記 載 さ れ、署 名 又 は 捺 印 し た 文 書 又 は FAS 系 シス テ ム で 電 子 決 裁 処 理 さ れ た 電 磁 的 記 録 を い う。
9) 「工 事 検 査」とは、契 約 に 規 定 す る 次 の 各 事 項 の 確 認 を す る た め に 受 注 者 又 は 検 査 職 員 が 行 う 検 査 を い い、工 事 の 施 工 制 度、施 工 状 況、出 来 形、品 質 及 び 出 来 ば え の 検 査 を 含 む。(た だ し、② に 係 る 検 査 を 除 く。)
① 工 事 の 完 成 (契 約 第 32 条)
② 部 分 仕 工 の 請 負 に 係 る 出 来 形 部 分 又 は 部 分 仕 工 材 料 等 (契 約 第 38 条)
③ 部 分 引 渡 し の 指 定 部 分 に 係 る 工 事 の 完 成 (契 約 第 39 条)
④ 契 約 の 解 除 時 に お け る 出 来 形 部 分 (契 約 第 46 条)
⑤ 必 要 が あ る と 認 め た と き の 臨 時 検 査 (契 約 第 50 条)
(2) 1.4.2 [1.4.2] 構 造 の 品 質 等
1) 工 事 に 使 用 す る 機 材 は、「建 築 材 料・設 備 機 材 等 品 質 性 能 評 価 事 業 設 備 機 材 等 評 価 名 簿 (一 般 社 団 法 人 公 共 建 築 協 会) 契 約 時 の 最 新 版」の 名 簿 に 記 載 さ れ て い る 品 目 に つ い て は、当 該 名 簿 に 記 載 さ れ て い る 材 料 又 は 製 造 所 の 製 品 と す る ば か、設 計 図 書 に 定 め る 品 質 及 び 性 能 を 有 す る 新 品 と す る。た だ し、仮 設 に 使 用 す る 機 材 は、新 品 に 限 ら な い。
2) 使 用 す る 機 材 が、設 計 図 書 に 定 め る 品 質 及 び 性 能 を 有 す る こ と の 証 明 と な る 資 料 を 監 督 員 に 提 出 す る。
た だ し、JIS (日 本 工 業 標 準) に 該 当 す る も の で あ る こ と を 示 す 表 示 の 有 る 機 材 を 使 用 す る 場 合 及 び あ ら か じ め 監 督 員 の 承 認 を 受 け た 場 合 (次 の ①) か ら ④) ま で の い ず れ か に 該 当 す る 場 合 は、あ ら か じ め 監 督 員 の 承 認 を 受 け た と み な す こ と が で き る。 ) は、資 料 の 提 出 を 免 除 す る こ と が で き る。
(3) 1.4.4 [1.4.4] 構 造 の 検 査 等
1) 現 場 に 搬 入 さ れ た 機 材 は、随 時 監 督 員 の 検 査 を 受 け る。た だ し、次 の ①) ま で の ②) に 該 当 す る 場 合 又 は あ ら か じ め 監 督 員 の 承 認 を 受 け た 場 合 は、こ の 限 り で な い。
① 工 事 完 成 検 査 時 又 は 工 事 写 真 で、JIS の マーク を 確 認 で き る 場 合
② 抽 査 基 準 法 そ の 他 の 認 定 品 で、マ ー ク の 確 認 が で き る 機 材
(4) 建 築 材 料・設 備 機 材 等 品 質 性 能 評 価 事 業 設 備 機 材 等 評 価 名 簿 に 記 載 さ れ て い る 機 材 又 は 製 造 所 の 製 品 (特 記 で 構 造 及 び 改 修 補 助 要 領 の 規 定 に 基 づ く 品 質 及 び 性 能 以 外 を 規 定 し た 場 合 を 除 く。)
(5) 特 記 に よ り 指 定 さ れ た 材 料 又 は 製 造 所 の 製 品
(3) 1.4.4 [1.4.4] 構 造 の 検 査 等
1) 現 場 に 搬 入 さ れ た 機 材 は、随 時 監 督 員 の 検 査 を 受 け る。た だ し、次 の ①) ま で の ②) に 該 当 す る 場 合 又 は あ ら か じ め 監 督 員 の 承 認 を 受 け た 場 合 は、こ の 限 り で な い。
① 工 事 完 成 検 査 時 又 は 工 事 写 真 で、JIS の マーク を 確 認 で き る 場 合
② 抽 査 基 準 法 そ の 他 の 認 定 品 と 指 定 さ れ た 材 料 で、工 事 完 成 検 査 時 又 は 工 事 写 真 で 品 質、性 能 を 証 明 す る マー ク 等 を 確 認 で き る 場 合
(4) 1.6.1 [1.10.1] 工 事 検 査
2) 契 約 に 規 定 す る 部 分 仕 工 を 請 負 す る 場 合 は、当 該 請 負 に 係 る 出 来 形 部 分 等 の 買 出 方 法 に つ い て 監 督 員 の 指 示 を 受 け る も の と す る。
3) (a) か ら (c) ま で の 通 知 又 は 請 負 に 基 づ く 検 査 並 び に 契 約 第 48 条 及 び 第 50 条 に 規 定 す る 検 査 は、発 注 者 か ら 通 知 さ れ た 検 査 日 に 検 査 を 受 け る。
II. 特 記 仕 様
凡 例
(1) 章 と 項 目 は、番 号 に O 印 の つ い た も の を 適 用 す る。特 記 事 項 は、・ に O 印 の つ い た も の を 適 用 す る。
(2) 特 記 事 項 で O 印 の な い 場 合 は、※ 印 の あ る も の を 適 用 す る。O 印 と ※ 印 の あ る 場 合 は、O 印 の あ る も の を 適 用 す る。
O 印 と ※ 印 の あ る 場 合 は、両 方 を 適 用 す る。
(3) 根 拠 項 目 の (a-b-c-d) は、構 造 の 第 1 編 第 1 章 第 1 節 の 項 を 表 示。
根 拠 項 目 の (a-b-c-d) は、改 修 補 助 要 領 の 第 1 編 第 1 章 第 1 節 の 項 を 表 示。
電 気 設 備 特 記 仕 様 書 (1)
Ver. 020401
有 限 公 司 サ ク ラ イ 設 計
設 計 者 氏 名 建 築 士 登 録 番 号 等
工 事 名 称 文 化 財 展 示 室 改 修 工 事
年 月 日 2 0 2 3 . 0 3
設 計 者 氏 名 建 築 士 登 録 番 号 等
工 事 名 称 電 気 特 記 仕 様 書 1 (電 気 設 備)
年 月 日 2 0 2 3 . 0 3
設 計 者 氏 名 建 築 士 登 録 番 号 等
工 事 名 称 電 気 特 記 仕 様 書 1 (電 気 設 備)
年 月 日 2 0 2 3 . 0 3

章	項目	特記事項	根拠項目
25 追加特記事項	<p>① 公共事業労務費調査 ※ 協力する。</p> <p>② 工事監理方式 共同監理 ○ あり ※ なし</p> <p>③ 適用基準等 ※ 建築工事電子給品要綱(案) (国土交通省大臣官庁官庁営繕部営繕計画課監修)</p> <p>④ 総合図 ※ 工事進行に7/1 (新潟県土木部都市局営繕課作成)</p> <p>⑤ 工事成績評定 ○ 作成しない</p> <p>⑥ アスベスト含有の建材 受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創製工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。(様式等は工事進行に7/1による。)</p> <p>⑦ 中間技術検査 アスベスト含有の建材は使用しない。</p> <p>⑧ 低入札価格調査準備格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。</p>		

設置場所	機器種別	「官庁施設の総合設備計画基準及び防火解説 平成8年版」による耐震安全性の分類			
		＊ 特定の施設（・ 甲類 ・ 乙類）		＊ 一般の施設（・ 乙類）	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 地上及び準地上	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中階階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6

**重要機器** ・ 配電盤 ・ 発電装置 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置  
 ・ 交換機 ・ 火災報知受信機 ・ 中央監視装置

**上層階の定義** 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

表-2>      あと施工工率	
1 共通事項	<p>(1) 既設のイナート及びアークは原則として使用しない。やむを得ず既設のイナート及びアークを再利用する場合は、状態及び強度をよく確認し、十分に清掃してから使用する。また、引張強度の確認試験については次に要する。</p> <p style="text-align: center;">( )</p> <p>(2) あと施工アークについては機械設備工事標準図（施工19）による。</p> <p>(3) 穿孔作業には、専用ドリル、振動ドリルやハンマードリル等を使用し、必要埋設深さを確保するため、穿孔深さのドリルの表示がハブに付きドリルの使用等を行う。</p>
2 重要機器用のあと施工アーク	<p>(1) 重要機器の耐震固定等に使用するあと施工アークは金属拡張アーク又は接着系アークとし、耐震計算にて選定を行う。</p> <p>(2) 金属拡張アークの様子は、次による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(イ) 金属拡張アークは、(社)日本建築ああと施工アーク協会会員の金具系ああと施工アーク品質性判定委員の性能を満たす製品とする。</li> <li>(ロ) 金属拡張アークのとり方は、図示による。図示がなければ、本打込み式とする。</li> <li>(ハ) 金属拡張アーク本体の径及び埋込み深さは、図示による。</li> <li>(ニ) アークの種類、径及び長さも図示による。</li> </ul> <p>(3) 接着系アークの様子は、次による。なお、次により施工が困難な場合は、監督員と相談すること。</p> <p>(イ) 接着系アークは、(社)日本建築ああと施工アーク協会の接着系ああと施工アーク品質性判定委員の性能を満たす製品とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(ロ) 接着系アークは、α7 型型とし、接着剤の材質及びα7 材の種類は図示による。</li> <li>(ハ) 接着系アークの埋込深さ及び許容引張り荷重については、機械設備工事標準図（施工19）による。</li> </ul> <p>(4) あと施工アークの施工には、工事内容に相応した施工の指導を行うあと施工アーク技術管理士又は主任技士を置く。</p> <p>(5) あと施工アーク作業における技能者は、あと施工アーク工事の施工に関する十分な経験と技能を有する主任技士又は第1・2種ああと施工アーク施工士とする。</p> <p>(6) あと施工アークの撤去は、専用の工具を使用し、構造物に影響を与えないようにすること。</p>

＜表－３＞ 用語の説明

(1) 「搬去」とは、既存物を壊し取ること。
(2) 「取外し」とは、再使用を考慮して、工事外すこと。
(3) 「搬去・新設」とは、既存物を搬去し、新たな物を設置すること。
(4) 「取外し・再取付け」とは、既存物を取外し、同じ物を取付けること。 [1-1, 4.3]
(5) 「備品・移動品」とは、工事の施工に支障となる備品を一時的の場所に保管し、工事終了後に元の場所に戻すこと。

＜表－４＞ 発生材の処理等

１ 再生資材の利用

下書き材の埋削に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用施設	再資源化施設名・所在地	備 考

2 建設発生の利用

※本欄に使用する発生主は、下表の工事からの建設発生主を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・道地名	備 考

3 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下表の場所に出荷すること。

受入工事名／施設名称				
工事項目／施設所在地				
運 送 先				
荷 置 場 所 の 有 無				
備 考				

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する産業物は、下表の場所に搬出するものと見積している。

搬出する産業物名	奥平区 等	金風町 等		
処理施設名称	魚沼環境(株)	(有)渡辺鋼鉄店		
施設所在地	魚沼市青島764-1	魚沼市四日町381-1		
連絡先	025-792-1895	025-792-6140		
備考				

上表は概算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象となし、

ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5. 建設サイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化率が完了したときは、 同法第 18 条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7. 協議について  
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

項 目		機 能 実 現 部	備 考
配 電 系			
1. RC造（梁・壁・床）の貫通	貫通部材及び取付け	○ ○ ○ ○ ○	
	補強を要する型枠材及び取付け	○	
	補強を要しない型枠材及び取付け	○ ○ ○ ○ ○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の裏出し	○ ○ ○ ○ ○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補修	○	
	仕上・型枠の穴埋め	○ ○ ○ ○ ○	
2. S・SRC造	1・SRC造貫通部材取付及び、補強	○	
・はり貫通口	使用された部材の穴埋め	○ ○ ○ ○ ○	
	予備部材の穴埋め	○ ○ ○ ○ ○	
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○	
	図外の基礎（建築設計図に記入のないもの）	○ ○ ○ ○	
	図外・図上の基礎	○	
	図上基礎で押さえるのに十分な強度のあるもの	○ ○ ○ ○	
	強度取付け用ボルト・架台	○ ○ ○ ○	
	図内受水口用の基礎	○	
仕 上 げ 系			
軽鉄天井	補強を要する部材の取り込み及び下地の補強	○	
・壁下地	補強を用いない部材の切り込み	○ ○ ○ ○	
	開口部の裏出し	○ ○ ○ ○	
電 気 系			
電気配管配線	機器付属の制御盤に際る配管配線（接地線含む）	○ ○ ○	二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○	一次側
	機器とは配線槽との取付け及び配管配線	○ ○	
そ の 他（工事区分を別に節通えやすい項目）			
天井材の取付け再取付	吊钩配管配線作業用	○ △ △ △ △	小建物は監督員と協議
床はつり補修	吊钩配管配線作業用	○ △ △ △ △	小建物は監督員と協議
通し台、ガス台使用予定のカウンター		○	衛生施設は衛生設備
洗面化粧台			
経湯暖房			
ガス漏れ警報装置（400mA系）		○	経湯炉は電気給湯、ガス漏れ火災警報装置は電気給湯
運動スリッパ	取付	○	
湯沸器	取付	○	
運動スリッパ	取付	○	
上靴以外履き替え用スリッパ	取付	○ ○	

表-6>機器取付高			単位	
機器取付高は、下表を標準とする。ただし、設置上の指針により異なることがある。	名称	地点	取付高 (mm)	
電力・水道	取引用計器	地上・上端	※ 2,000	
	引込開閉器	※	※ 1,800	
	分電盤	床上・中心	※ 1,500 (上端1,900以下)	
	タンブラースイッチ (一般)	※	※ 1,300	
	※ (身障者用)	※	※ 900~1,000	
	コンセント (一般)	※	※ 300	
	※ (和室)	※	※ 200	
	※ (台上)	台上・中心	※ 150	
	ブラケット (一般)	床上・中心	※ 2,100	
	※ (踊場)	※	※ 2,500	
電灯	※ (館上)	天井・中心	※ 150	
	非常照明器具用遮断器	床上・中心	※ 天井高×0.9	
	避難口誘導灯	※	※ 1,200	
	廊下通路誘導灯	床上・下端	※ 1,500以上	
	※ (浴室)	床上・上端	※ 1,000以下	
	壁掛型制御箱	床上・中心	※ 1,500	
	手元開閉器	※	※ 1,500 (上端1,900以下)	
	操作スイッチ・押ボタン	※	※ 1,300	
	電話	室内端子盤	床上・下端	※ 300
		中継端子盤	床上・中心	※ 1,500
保安器箱		※	※ 天井高×0.9	
壁掛位置ボックス (一般)		床上・中心	※ 300	
※ (和室)		※	※ 200	
時計	壁掛形時計	床上・中心	※ 1,500 (上端1,900以下)	
	子時計	※	※ 天井高×0.9	
拡声	壁掛形スピーカー	床上・中心	※ 天井高×0.9	
	壁付音量調整器	※	※ 1,300	
表示・電鈴	表示盤	床上・中心	※ 天井高×0.9	
	壁付発信器	※	※ 1,300	
	ブザー・ベル	※	※ 天井高×0.9	
	押ボタン (一般)	※	※ 1,300	
	※ (身障者用)	※	900~1,000	
インターホン	壁付インターホン	床上・中心	※ 1,300	
	身体障害者用	※	※ 1,000	
	壁付位置ボックス (一般)	※	※ 300	
	※ (和室)	※	※ 200	
テレビ	機器収容箱	床上・中心	※ 1,500	
	テレビアウトレット (一般)	※	※ 300	
	※ (和室)	※	※ 200	
火災報知器	受信機・副受信機	床上・操作部	※ 800~1,500	
	専用給電盤	床上・中心		
	発信器	※		
	ベル	※	2,300	
	消火栓・表示灯	※	※ 2,100	
ガス検知器	試験器	※	※ 1,500	
	LPガス用	床上・上端	※ 300以内	
	都市ガス用	天井面・下端	※ 300以内	

電氣設備 特記仕様書 (2) Ver. 020401

図 号			<b>有 限 会 社 サ ク ラ イ 設 計</b> 新潟県魚沼市小出東 1 2 0 9 番地 1 6 （小出東町） 一 設 計 室 主 務 所 分 設 局（内 第 1 月 2 5 号） 02-024-3556、FAX 02-024-3557 一 設 計 室 主 務 所（内 第 2 月 2 2 2 号） 新潟県上越市 浅 井 守 人	設 計 者 等 氏 名 主 務 設 計 者 櫻 井 孝 治 設 計 力 別 作 成 士 上 級 技 師 第 1 号 第 2 号 技 師 登 録 番 号 第 1 号 第 2 号 図 面 名 称 電 氣 特 記 仕 様 書 2 （電 氣 設 備）	建 築 士 登 録 番 号 等 設 計 室 主 務 所 第 1 号 第 2 号 図 面 名 称 電 氣 特 記 仕 様 書 2 （電 氣 設 備）	工 事 名 称 文 化 財 展 示 室 改 修 工 事 図 面 名 称 電 氣 特 記 仕 様 書 2 （電 氣 設 備）	年 月 日 2 0 2 3 . 0 3 縮 尺	意 図 構 造

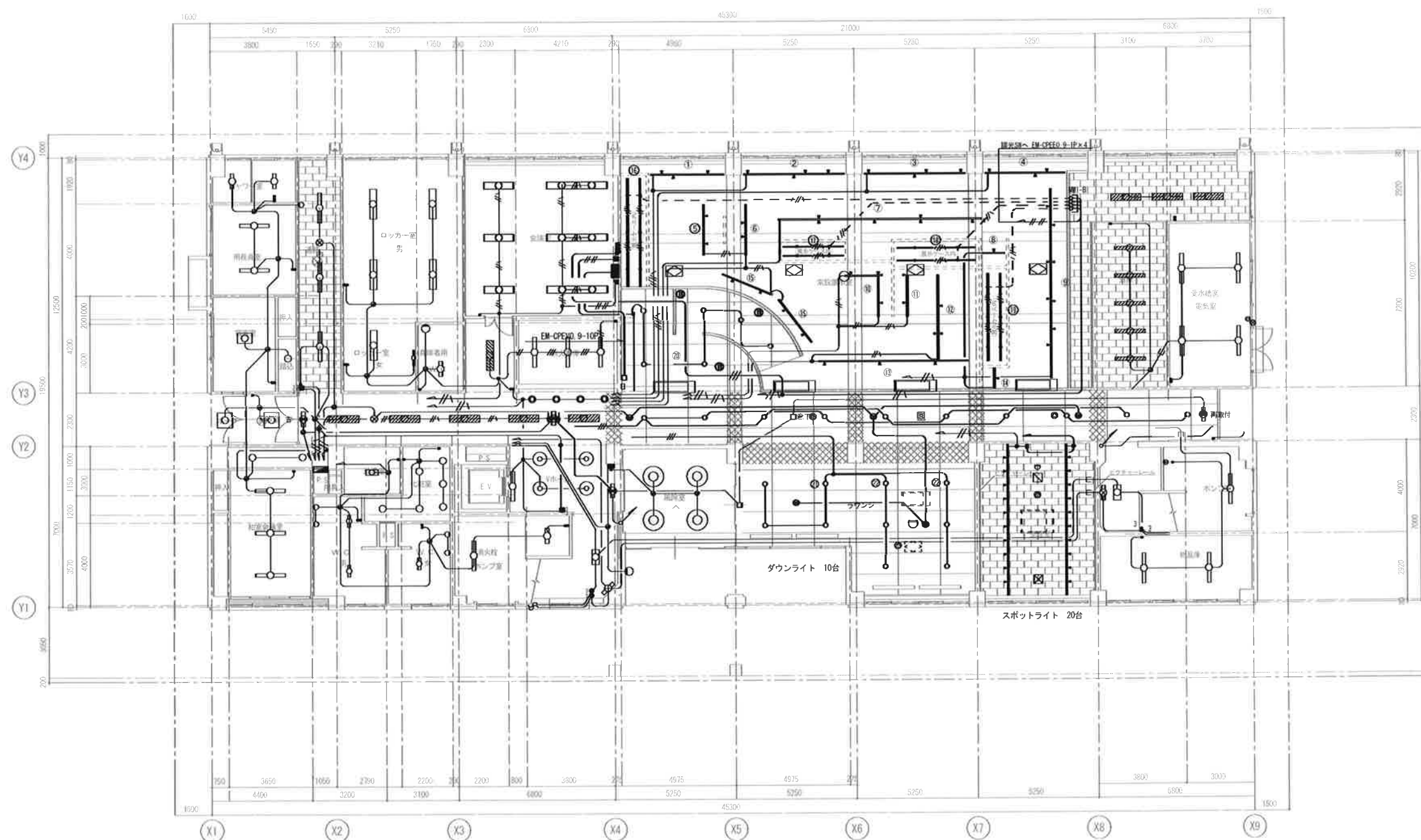



Architectural floor plan of the 1st floor of the National Diet Library Building. The plan shows a large central hall with a grid of columns, surrounded by various rooms including a library, study rooms, and administrative offices. Dimensions are provided along the top and bottom edges. Labels in Japanese indicate room functions such as '図書室' (Library), '読書室' (Reading Room), and '事務室' (Office).




ラウンジ		
埋込型	FL40W×3	4台
埋込型	FL40W×2	9台
鉄湯灯	中型 (片面)	1台
埋込型	非常灯	1台

整理室	
埋込型 FL400×2	12

注 記  
① 本図において、太線表示は今回工事対象として×印は撤去を示し、細線表示は対象外（既設）を表す。



注 記	
1. 記入なき記号記号は下記による。	
— <del>///</del> —	EM-EEF1 6-30 OAフロア内
— — —	EM-EEF1 6-20 天井内
— <del>///</del> —	EM-EEF1 6-30 天井内
— <del>///</del> —	EM-EEF1 6-20×2 天井内
— <del>///</del> —	EM-EEF2 0-30 天井内
⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮	回路はライトコントロールスイッチで調光を行う。
	ライトコントロール (M021505)

	50台	スポットライト (NTS01006B LEI:Panasonic) ライティングレールブラック	
	43台	ダウンライト (OND2506SY LE9:Panasonic) 指定色昼昼	
	10台	ベースライトL1500 (NMF41500 LR9:Panasonic) 調光あり	ライトコントロール (ND 21505)
	10台	ベースライトL1200 (NMF41200 LR9:Panasonic) 調光あり	ライトコントロール (ND 21505)

		・見えがかり（直観表示）の壁はH:2900とする		有限会社 サクライ 設計		設計者等氏名		建築士登録番号等		工事名称		文化財展示室改修工事		年月日		2023 03		図面番号	
				新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町）		主幹技師名		櫻井 孝治		一級建築士登録 第126053号								E-4	
				〃 株式会社 準備所 佐越11925号 TEL 405-742-0706 FAX 742-9946		設計協力		株式会社 エイチエフエフ		一級建築士 第4616号 第14154号		図面名称		電灯設備図		縮尺		1/100 1/200	
				〃 株式会社 浅井 第2-42222号 新潟県上 浅井 守人				浅井 孝		一級建築士 第3537号 第2527号								構 造	

[illegible]

図 号	有 限 会 社 サ ク ラ イ 設 計 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 〒951-8592 一級建築士事務所登録（第1925号） TEL 025-922-2592 FAX 722-9906 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守 人					設計者等氏名	建築士登録番号等	工事名称	年月日	2023 03	E-5			
						主幹技師氏名	浅井 守 人	一級建築士登録 第125055号	文化財展示室改修工事	図面サイズ A1	図面サイズ A2	差	図	
						図面内容	浅井 守 人	一級建築士登録 第1925号	図面名称	縮 尺	1/100	1/200	差	図
						図面内容	浅井 守 人	一級建築士登録 第1925号	図面名称	縮 尺	1/100	1/200	差	図

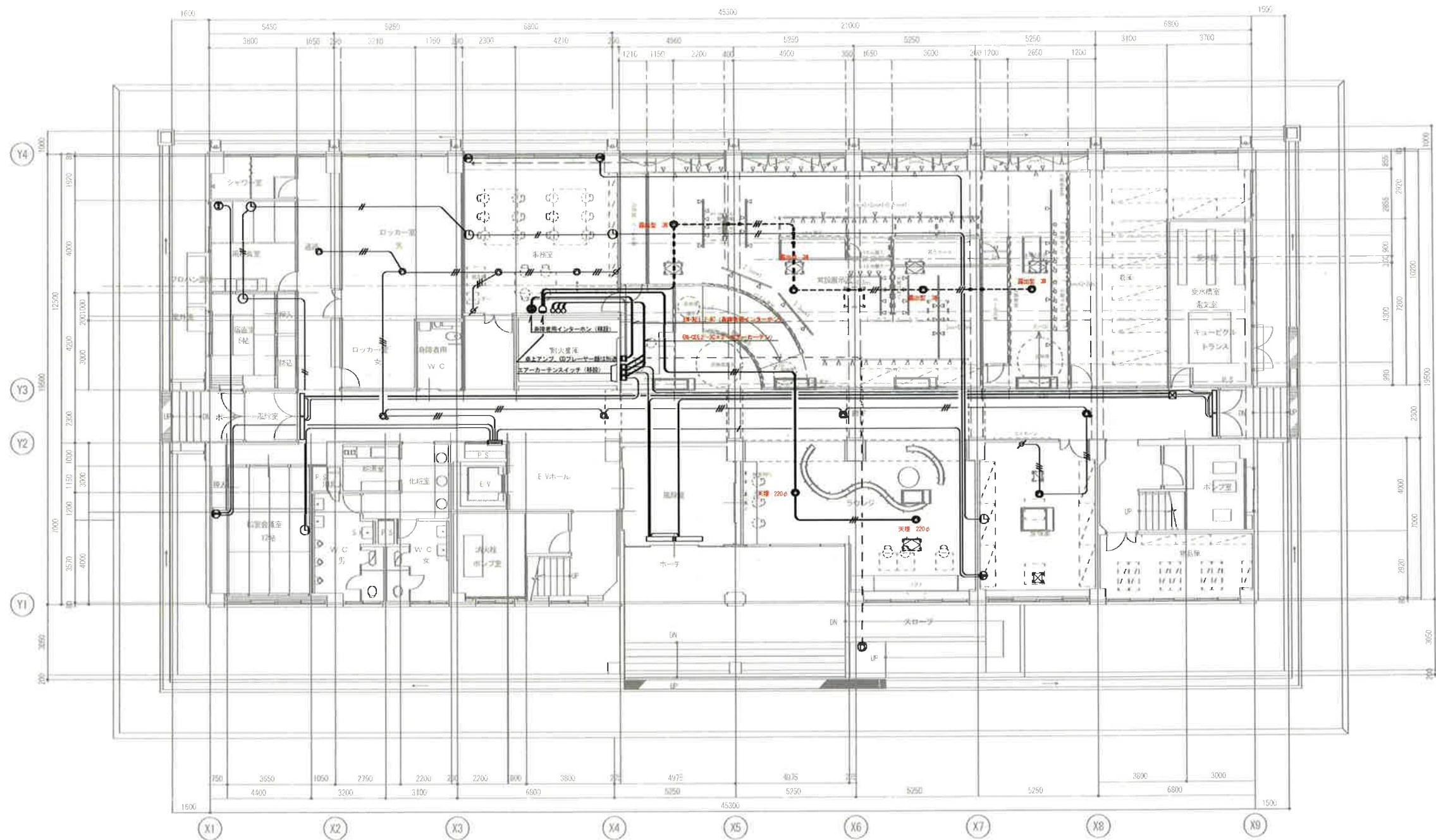


This architectural floor plan illustrates the 1st floor of a building, featuring a comprehensive electrical wiring diagram. The plan is overlaid on a grid with dimensions in millimeters. Key areas and components include:

- Rooms and Areas:** Reception area (受付), Waiting area (待合), Examination room (診察室), Large hall (大ホール), and various utility rooms (e.g., 電気室, 機械室).
- Electrical Symbols:** Switches (represented by a circle with a diagonal line), outlets (represented by a circle with a dot), and lighting fixtures (represented by a circle with a cross).
- Wiring:** A network of lines connecting the electrical symbols, indicating the flow of power throughout the floor.
- Grid and Dimensions:** The plan is divided into sections by a grid. Horizontal dimensions are marked at the top and bottom, while vertical dimensions are marked on the left and right sides.
- Labels:** Japanese text labels identify specific rooms and equipment, such as "電気室" (Electrical Room), "機械室" (Mechanical Room), and "大ホール" (Large Hall).

備考					〃 有限会社 サクライ設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 株式会社事務所係(〒)第1925号 TEL 0252-222-2222 FAX 0252-222-2222 一級建築士会 第24222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等氏名 法人様 浅井 守人		建築士登録番号等 一級建築士会 第125935号		工事名称 文化財展示室改修工事		年月日	2023 03	図章番号	E-6
			設計内容 電気設備工事			図章名称 換気扇電源設備図		図尺	1/100 1/200	図章	換気扇電源設備図				

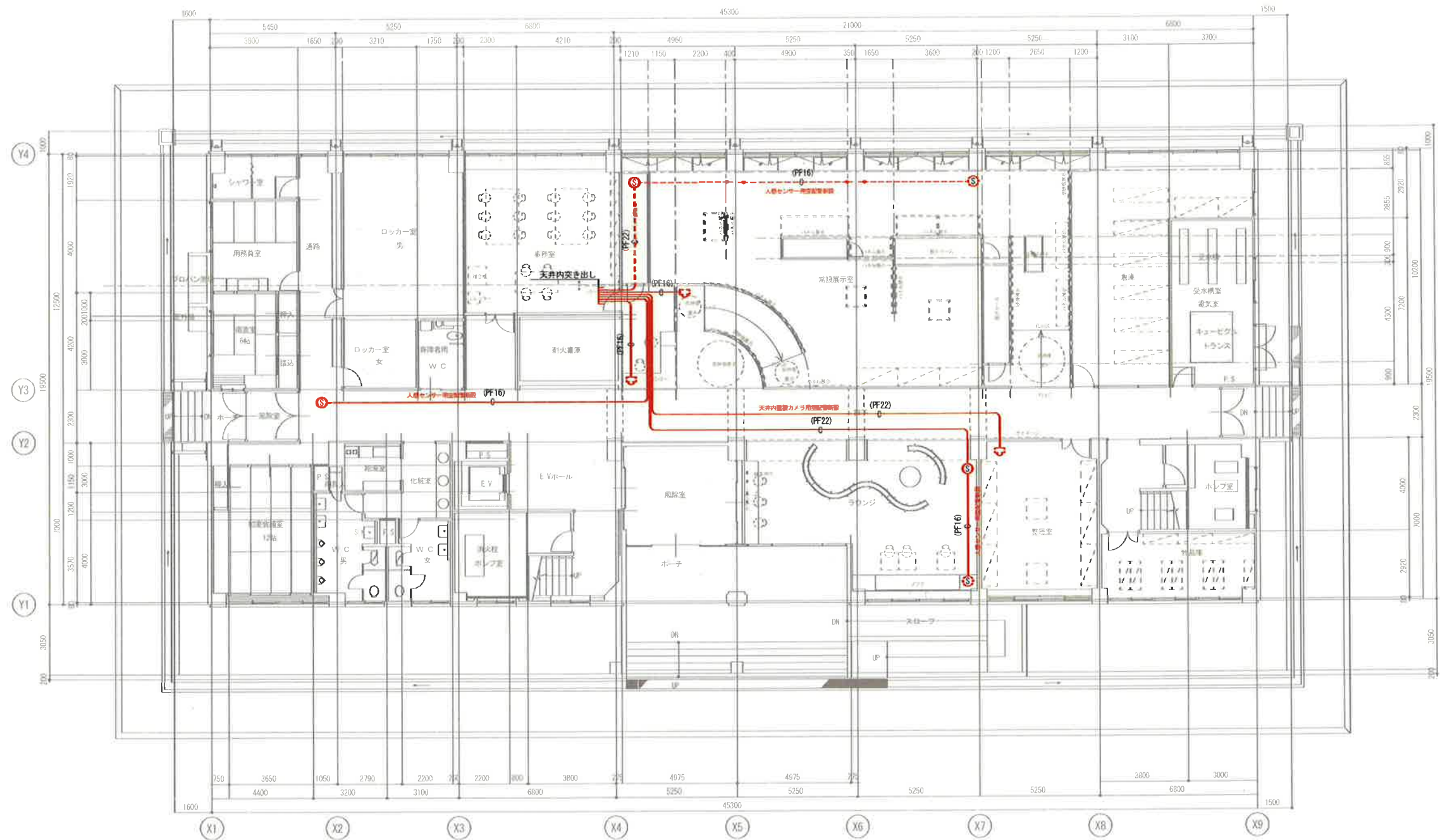
注 記  
1 本図において、太線表示は今回工事対象として×印は撤去を示し、細線表示は対象外（既設）を表す。



注 記  
1 記入なき配管記号は下記による。  
--- BK-AE1 2-30F (16) 露出  
--- BK-AE1 2-3C 天井内  
--- ユニバーサル







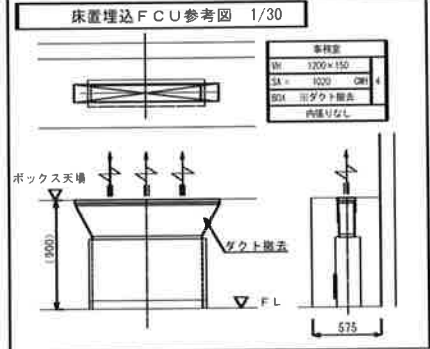
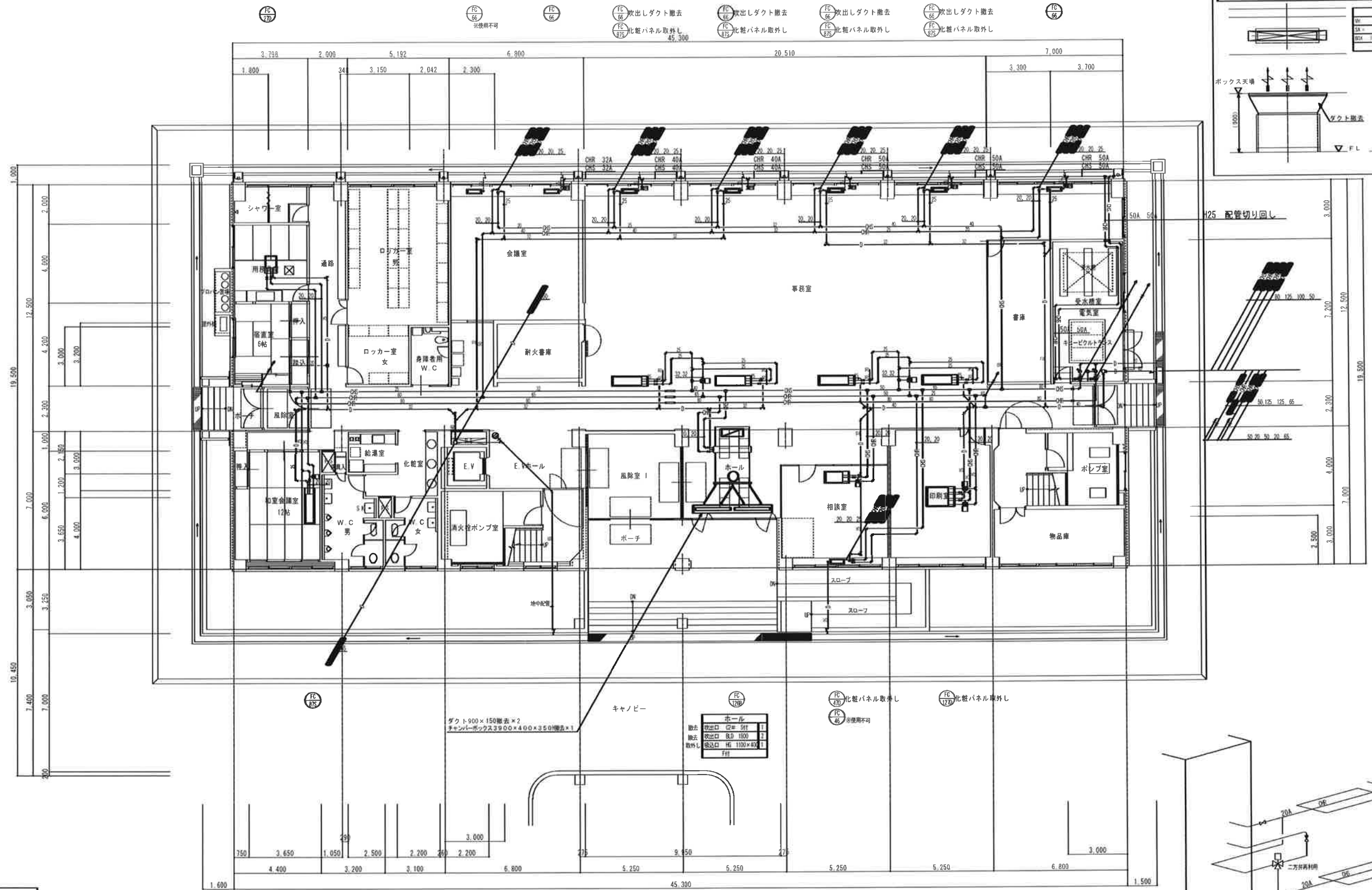
- 注 記
- 図示なき箇所は下記による。
- (PF16) 天井面に位置ボックス (08 中浅四角 ノズルプレート丸型) を取付
  - (PF22) 天井面に位置ボックス (08 中浅四角 ノズルプレート丸型) を取付
  - (PF16) 天井露出配管
  - (PF22) 天井いんべい配管
  - ユニバーサル
- ※ 配管工事のみで通線、機器取付、調整試験は別途とする。

[illegible]

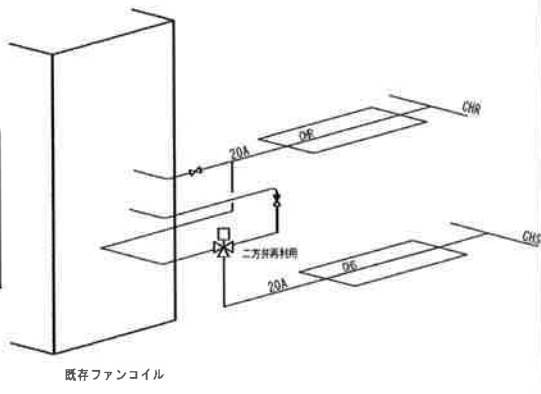


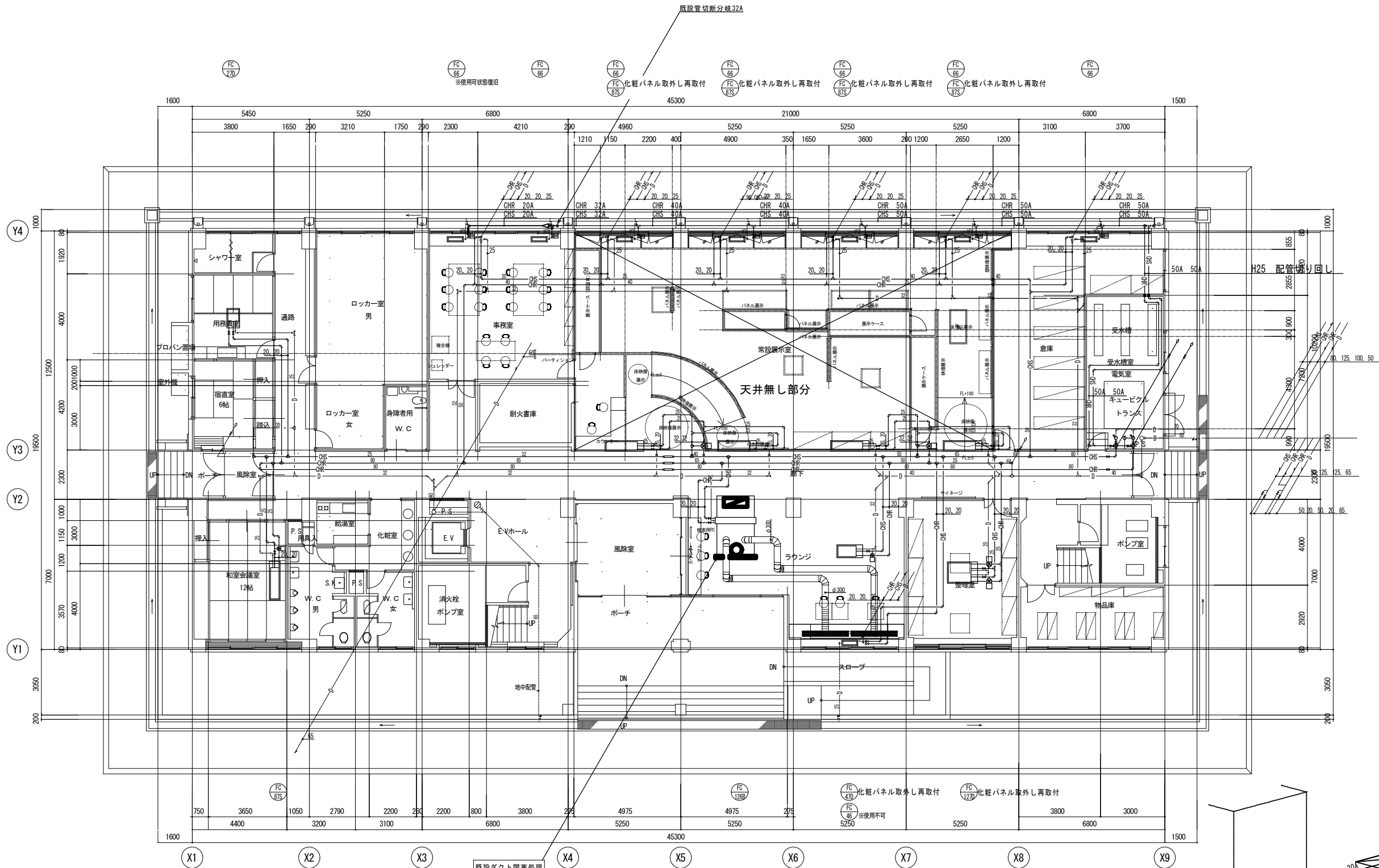
Form with multiple sections: 1. General Information (Project Name, Location, etc.), 2. Design and Construction Details (Tables for materials, equipment, etc.), 3. Safety and Health Measures (Tables for safety equipment, etc.), 4. Environmental Protection Measures (Tables for noise, vibration, etc.), 5. Other Information (Notes, etc.).





FC機器表				
名称	型番	仕様	電源	備考
ファンコイルユニット	FC-270	C:2.09kW H:3.43kW 6L/min 天井カセット2方向吹出	1φ100V 48W	
ファンコイルユニット	FC-470	C:3.84kW H:6.28kW 11L/min 天井カセット2方向吹出	1φ100V 62W	
ファンコイルユニット	FC-670	C:7.67kW H:12.3kW 22L/min 天井カセット2方向吹出	1φ100V 145W	
ファンコイルユニット	FC-1270	C:10.8kW H:17.4kW 31L/min 天井カセット2方向吹出	1φ100V 140W	
ファンコイルユニット	FC-87S	C:7.67kW H:12.3kW 22L/min 天井カセット1方向吹出	1φ100V 145W	
ファンコイルユニット	FC-126R	C:9.65kW H:17.3kW 27.8L/min 天井埋込型	1φ100V 136W	ダクト接続
ファンコイルユニット	FC-46	C:3.8kW H:6.02kW 10.9L/min 床埋込型	1φ100V 45W	ダクト接続 H25より1台使用不可
ファンコイルユニット	FC-66	C:5.1kW H:8.61kW 14.7L/min 床埋込型	1φ100V 68W	ダクト接続 H25より1台使用不可

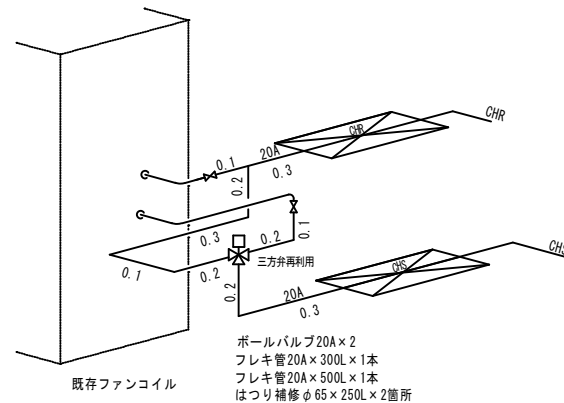




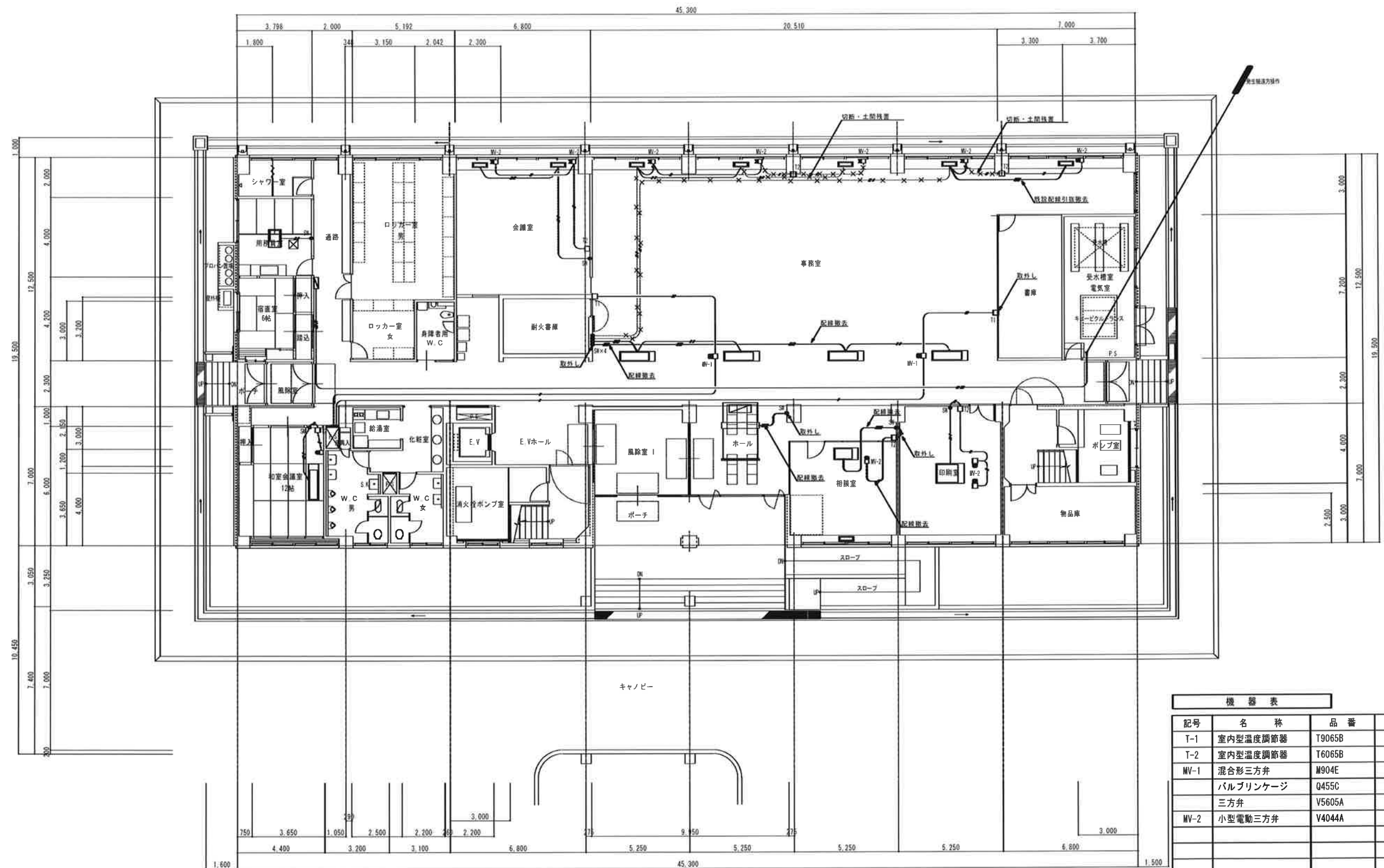
FC機器表					
名称	型番	仕様		電源	備考
ファンコイルユニット	FC-27D	C:2.09Kw	H:3.43Kw 6L/min	天井カセット2方向吹出	1φ100V 48W
ファンコイルユニット	FC-47D	C:3.84Kw	H:6.28Kw 11L/min	天井カセット2方向吹出	1φ100V 62W
ファンコイルユニット	FC-87D	C:7.67Kw	H:12.3Kw 22L/min	天井カセット2方向吹出	1φ100V 145W
ファンコイルユニット	FC-127D	C:10.8Kw	H:17.4Kw 31L/min	天井カセット2方向吹出	1φ100V 140W
ファンコイルユニット	FC-87S	C:7.67Kw	H:12.3Kw 22L/min	天井カセット1方向吹出	1φ100V 145W
ファンコイルユニット	FC-126B	C:9.65Kw	H:17.3Kw 27.8L/min	天井隠蔽型	1φ100V 136W
ファンコイルユニット	FC-46	C:3.8Kw	H:6.02Kw 10.9L/min	床埋込型	1φ100V 45W
ファンコイルユニット	FC-66	C:5.1Kw	H:8.61Kw 14.7L/min	床埋込型	1φ100V 68W

既設ダクト閉塞処理  
(1800×150)  
(φ350)  
新規ダクト取出し  
(φ300×2)

ラウンジ			
再取付	電出口	H:1100×400	1
新規	電出口	B.D. 2000	2
	BOX	2150×300×400H	2
		内貼り25t	

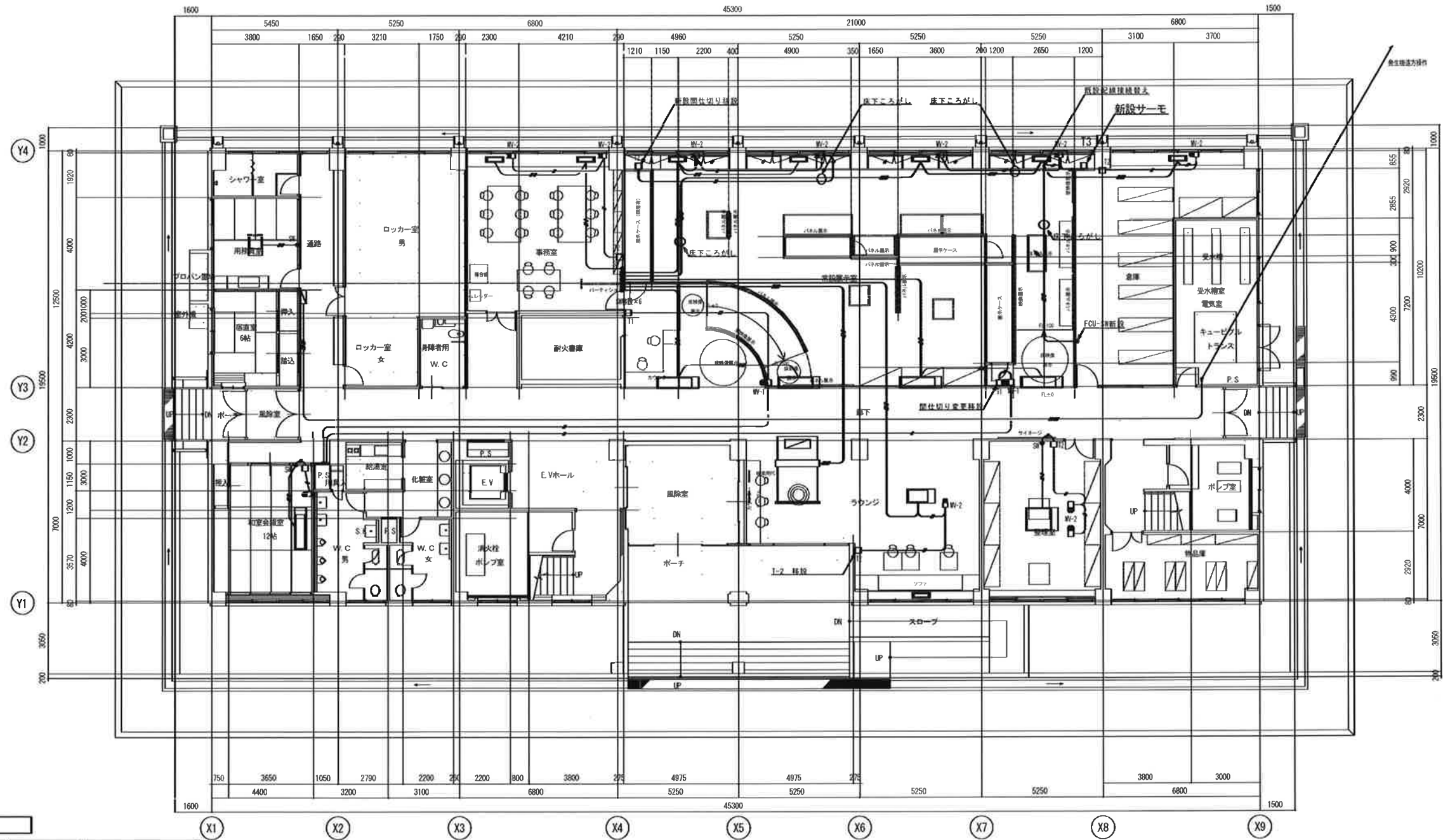


床置ファンコイル改修配管図



機 器 表			
記号	名 称	品 番	備 考
T-1	室内型温度調節器	T9065B	
T-2	室内型温度調節器	T6065B	
MV-1	混合形三方弁	M904E	
	バルブリンケージ	Q455C	
	三方弁	V5605A	
MV-2	小型電動三方弁	V4044A	

特記事項  
・図中配線は下記とする  
—— 2sq×2C (CD16)  
—— 2sq×3C (CD16)  
—— 2sq×4C (CD22)  
—— 2sq×5C (CD22)  
・トランス及びリレーは電灯盤組込（本体工事）



機器表

記号	名称	品番	備考
T-1	室内型温度調節器	T9065B	
T-2	室内型温度調節器	T6065B	
MV-1	混合形三方弁	M904E	
	バルブリンケージ	Q455C	
	三方弁	V5605A	
MV-2	小型電動三方弁	V4044A	
T-3	室内型温度調節器	TY6001Z	新設

特記事項

・図中既存配線は下記とする

— 2sq×2C (CD16)

— 2sq×3C (CD16)

— 2sq×4C (CD22)

— 2sq×5C (CD22)

・トランス及びリレーは電灯盤組込 (本体工事)

・図中更新配線は下記とする

— EM-CEE1 25n-2C (コダ'〃/CD16)

— EM-CEE1 25n-3C (コダ'〃/CD16)

— EM-CEE 2n-4C (コダ'〃/CD22)

— EM-CEE 2n-5C (コダ'〃/CD22)

有限会社 サクライ 設計

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-2-1 (小田急ビル)

代表取締役 櫻井 孝治 TEL 03-5561-1111 FAX 03-5561-1112

一級建築士事務所 登録 第 1925 号 国土交通省 建築士登録 第 24222 号 建築士 浅井 守人

設計者等氏名

主幹技師 櫻井 孝治

設計協力 浅井 守人

設計協力 浅井 守人

建築士登録番号等

一級建築士登録 第 1925 号

二級建築士登録 第 24222 号

建築士登録 第 24222 号

工事名称

文化財展示室改修工事

図面名称

改修自動制御設備図

年月日 2023.03

図面サイズ A3

縮尺 1/100

1/200

図面番号

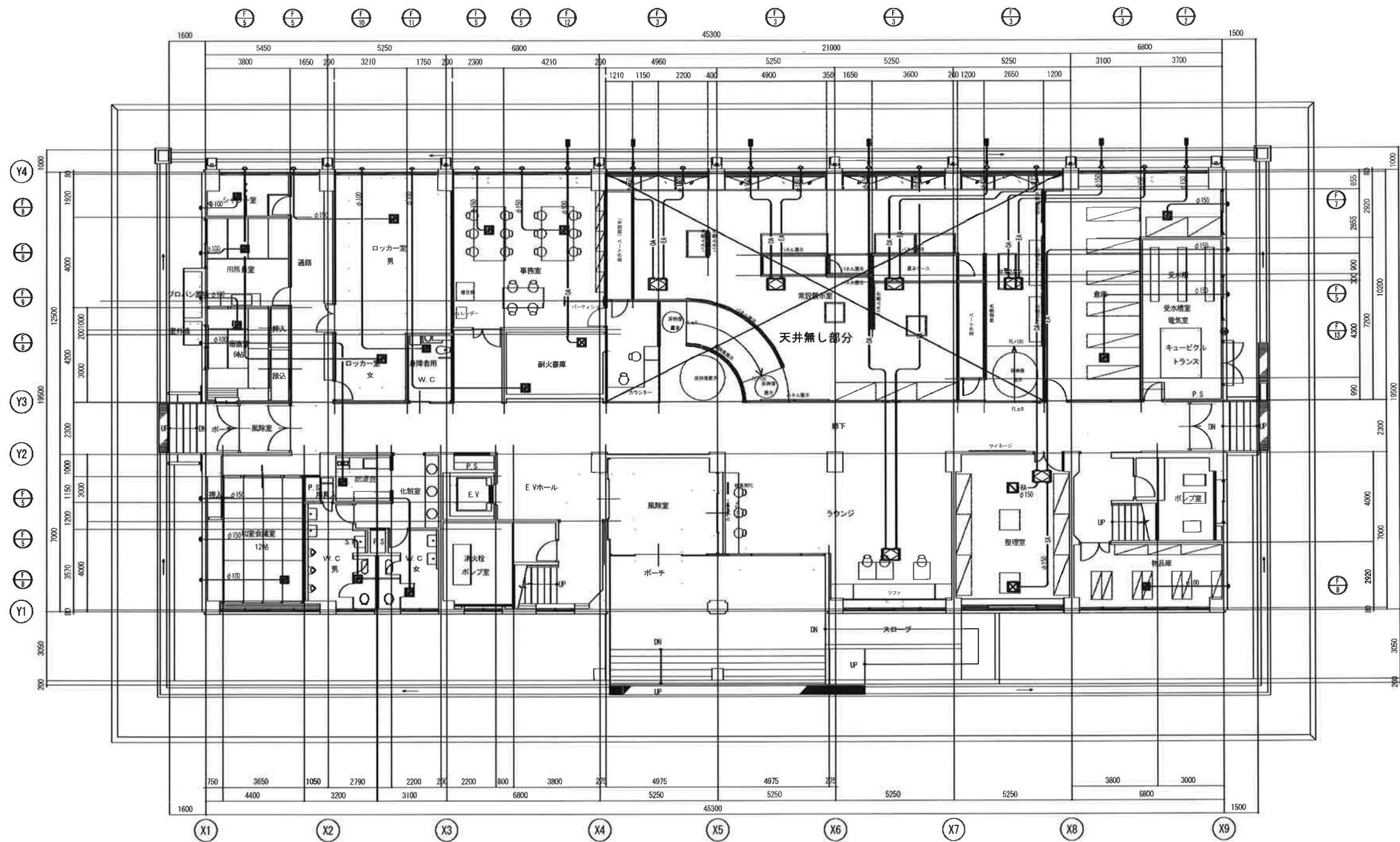
M-6

電

機



天井解体、復旧に伴い空調換気扇化粧パネル及び制気口の取外し再取付を行う。



換気機器表						
名称	型番	風量 (m³/min)	熱交換率 (%)	エネルギー効率 (%)	電源	備考
熱交換機ユニット 天井埋込形	F-2	290	70	56-62	1φ100V 95W	
熱交換機ユニット 天井カセット形	F-3	280	72	58-64	1φ100V 91W	
天井埋込換気扇	F-5	261			1φ100V 29W	
天井埋込換気扇	F-7	408			1φ100V 44W	
天井埋込換気扇	F-8	135			1φ100V 22W	
天井埋込換気扇	F-9	135			1φ100V 22W	
天井埋込換気扇	F-10	84			1φ100V 28W	
天井埋込換気扇	F-11	135			1φ100V 22W	
天井埋込換気ボックス	F-12					
換気扇 250φ	F-13	882				